

尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査 結果報告書

令和3年7月

【目 次】

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書の見方	2
II. 調査の結果	3
1. 回答者について	4
2. 本市での生活について	7
3. これからのまちづくりについて	13
4. 暮らしの満足度と今後の重要度について	45

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は「第 6 次尾鷲市総合計画」の進行管理にあたり、市民の皆様のご意見を反映すべく、またこれからのまちづくりに関してどう考えているのかを把握するため、毎年アンケート調査を実施しているものです。

2. 調査概要

調査区域 : 尾鷲市全域

調査対象 : 18 歳以上 80 歳以下の市民から 1,000 人を無作為抽出

調査時期 : 令和 3 年 2 月

配布数 : 1,000 票

回収数 : 443 票

回収率 : 44.3%

3. 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

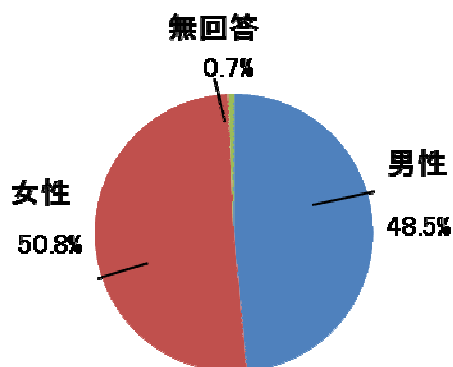
グラフ及び表の「N 数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

II. 調査の結果

1. 回答者について

問1 あなたの性別をお聞かせください。

回答者の性別は、「女性」が50.8%、「男性」が48.5%、無回答が0.7%となっています。

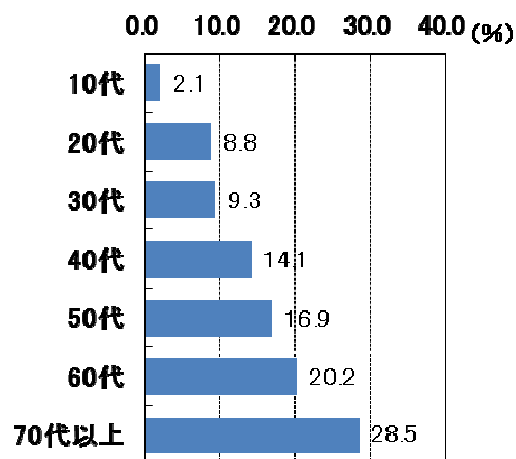
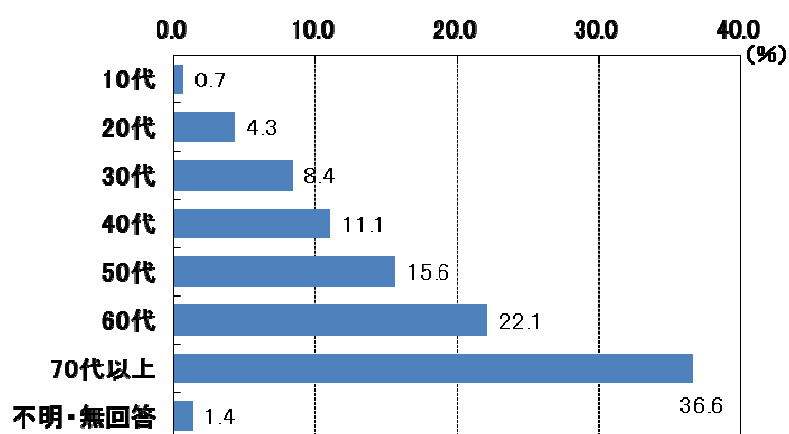


N=443

問2 あなたの年齢をお聞かせください。

回答者の年齢は、「60代」が22.1%、「70代以上」が36.6%と、60代以上が約6割を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較すると、「60代」、で実際の割合より高く、その他の年代では低くなっています。

N=443



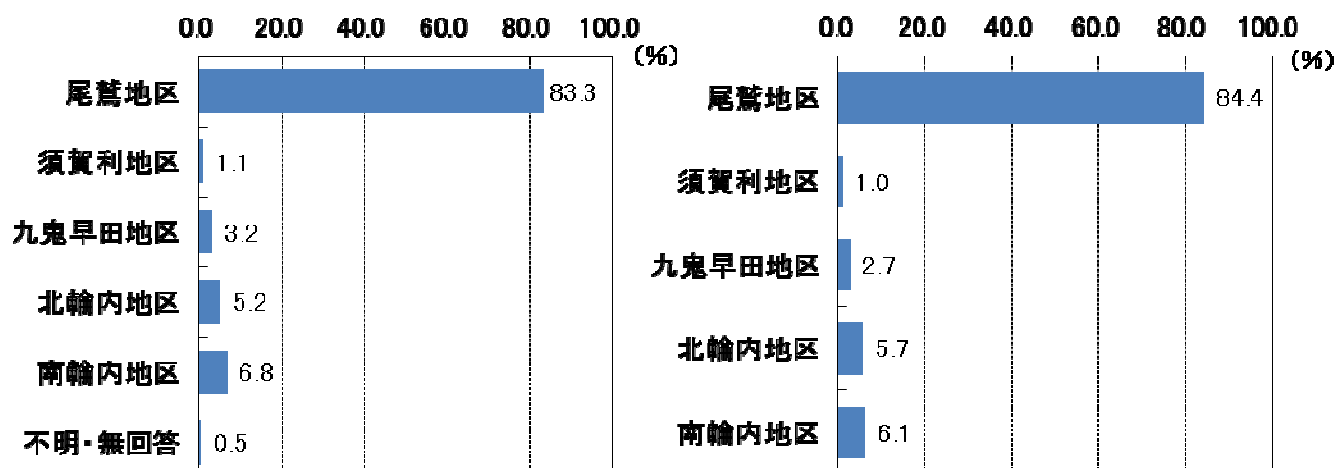
※調査対象である18歳以上の人口の年齢構成比

(参考)：住民基本台帳令和3年1月現在

問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

回答者の居住地区は、「尾鷲地区」が 83.3%と大半を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較しても、ほぼ同じ割合となっています。

N = 443

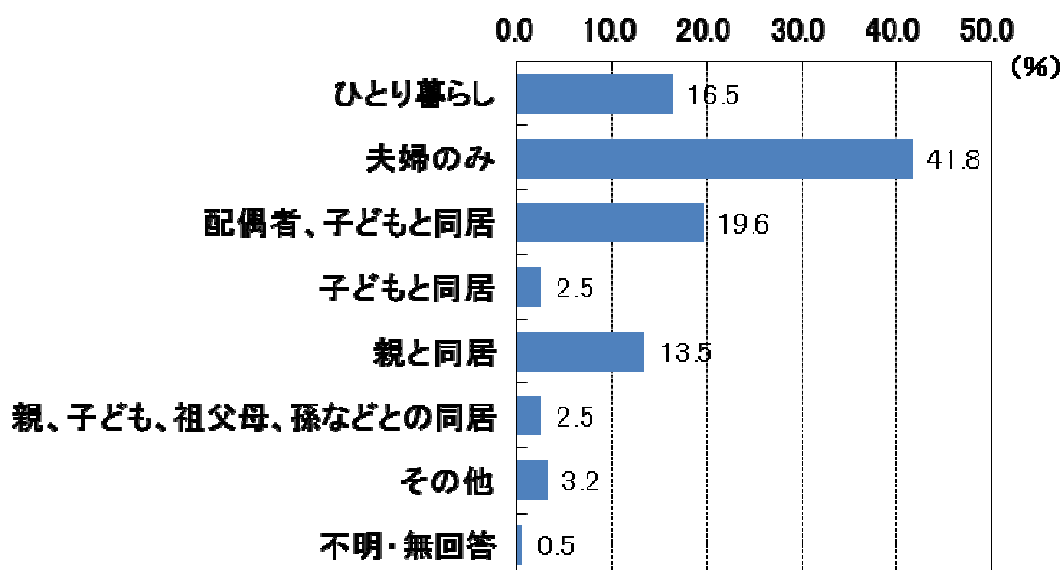


(参考)：住民基本台帳令和3年1月現在

問4 あなたの世帯の状況を教えてください。

回答者の世帯の状況は、「夫婦のみ」が 41.8%、「配偶者、子どもと同居」が 19.6%、「ひとり暮らし」が 16.7%となっています。

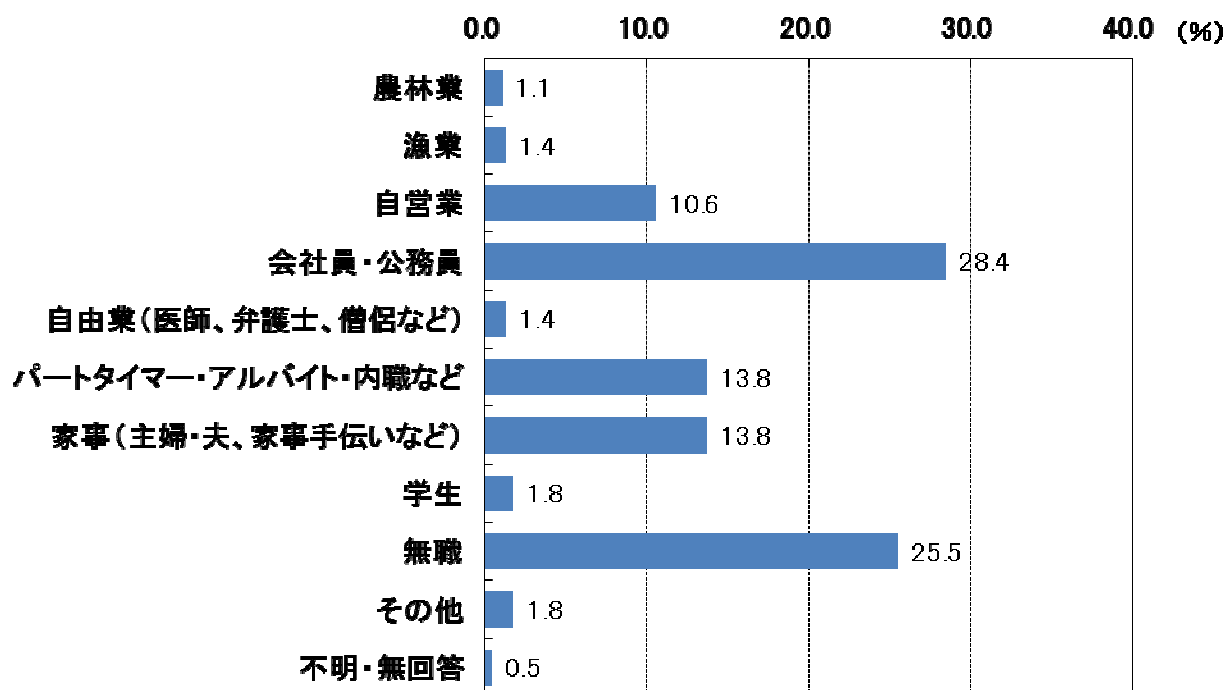
N = 443



問5 あなたの主な職業をお聞かせください。

回答者の職業は、「会社員・公務員」が 28.4%、「無職」が 25.7%、「パートタイマー・アルバイト・内職など」、「家事（主婦・夫、家事手伝いなど）」が 13.8%となっています。

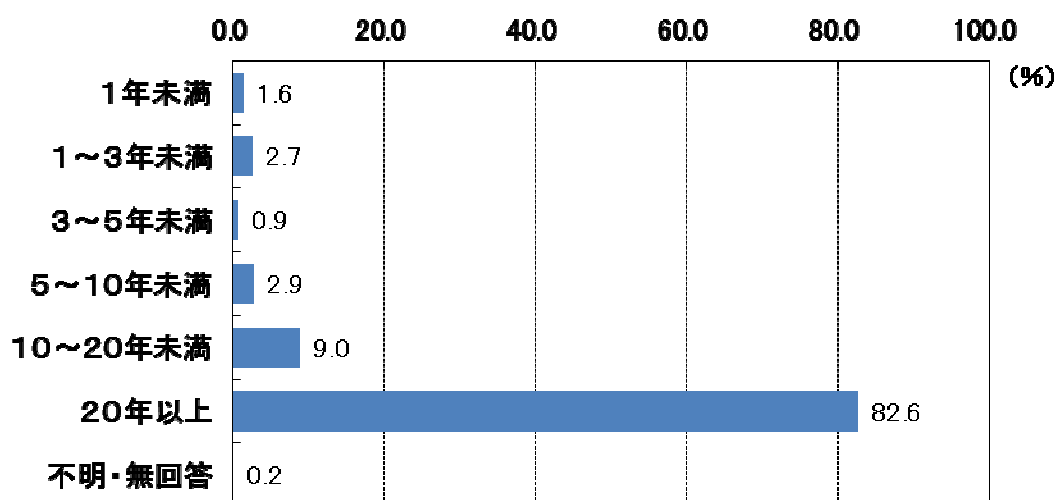
N = 443



問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

回答者の居住年数は、「20 年以上」が 82.6%と大半を占めています。

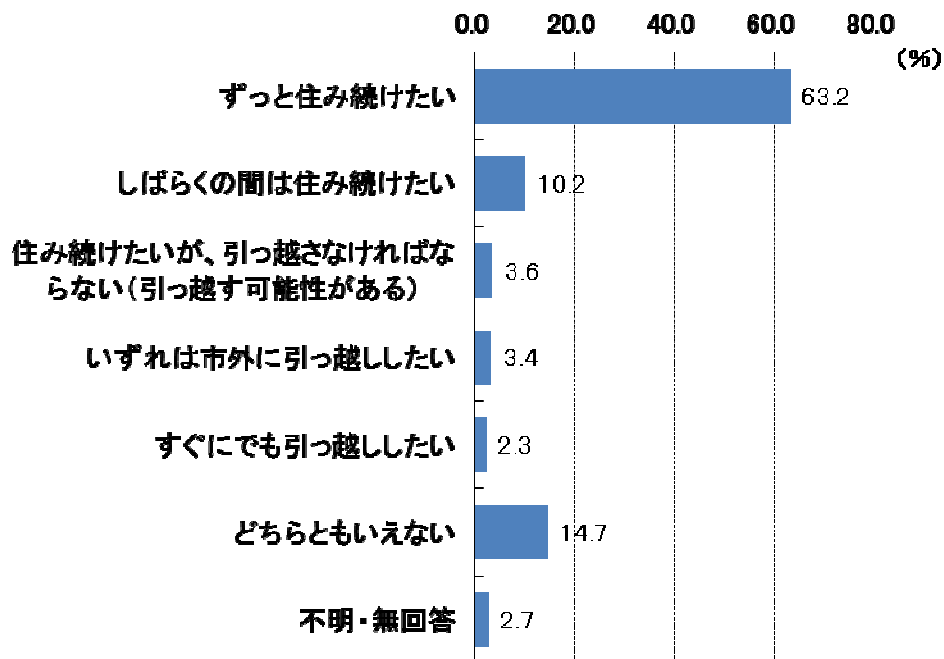
N = 443



2. 本市での生活について

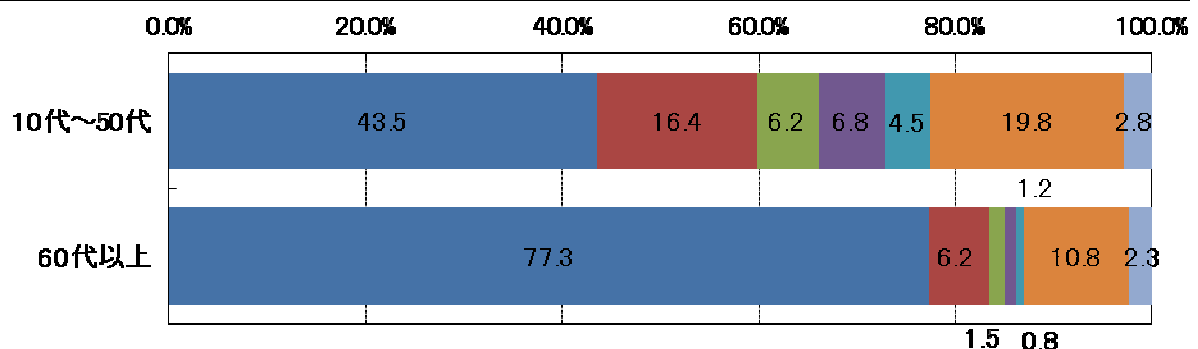
問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

定住意向は、「ずっと住み続けたい」が63.2%、「しばらくの間は住み続けたい」が10.2%とあり、「住み続けたい」と答えた方が合計で73.4%と4分の3近くを占めています。



問7×年代

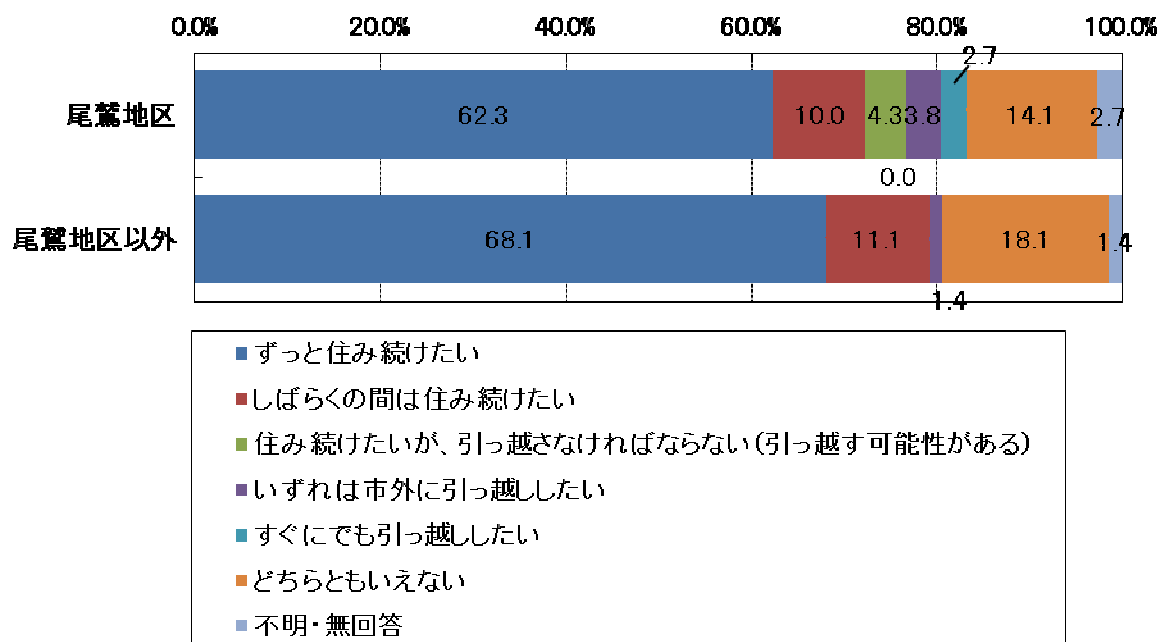
定住意向を年代別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「60代以上」では77.3%であるのに対し、「20代～50代」では43.5%であり、年代による差が見られます。



- ずっと住み続けたい
- しばらくの間は住み続けたい
- 住み続けたいが、引っ越さなければならぬ(引っ越す可能性がある)
- いずれは市外に引っ越したい
- すぐにでも引っ越したい
- どちらともいえない
- 不明・無回答

問7×居住地区

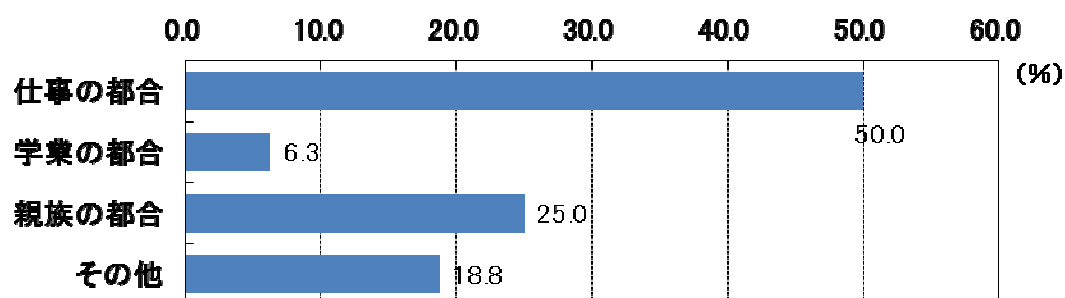
定住意向を地区別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「尾鷲地区以外」の方が高くなっています。



問8【問7で「住み続けたいが、引っ越さなければならない(引っ越す可能性がある)」とお答えになった方におうかがいします。】引っ越す可能性がある理由は何ですか。

引っ越さなければならない理由は、「仕事の都合」が 50%で最も多く、次いで「親族の都合」が 25%となっています。

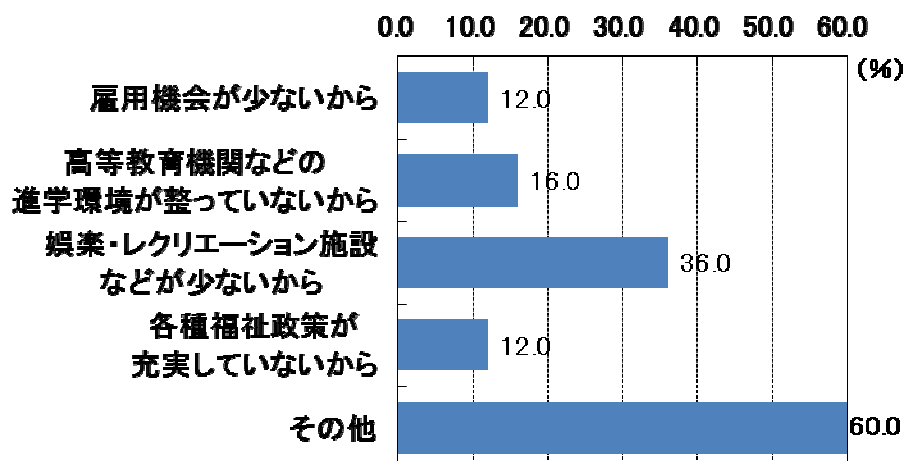
N=16



問9 【問7で「いずれは市外に引っ越したい」または「すぐにでも引っ越したい」とお答えになった方におうかがいします。】市外に引っ越したい理由は何ですか。

引っ越したい理由は、「娯楽・レクリエーション施設などが少ないから」が36%、「高等教育機関などの進学環境が整っていないから」が16%となっています。

N = 25



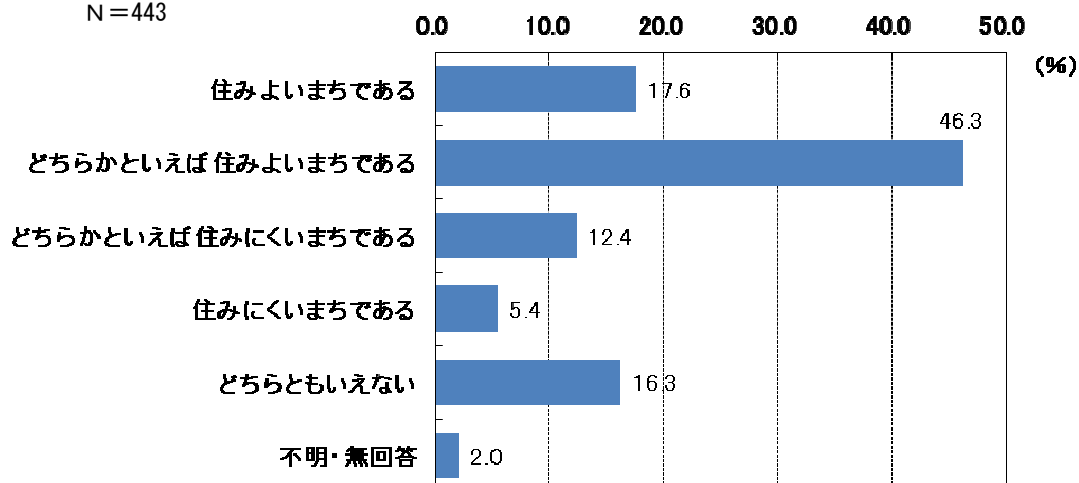
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
地震が恐ろしいから
医療が充実していないから
障害者の働き先がないから
魅力がないから
買い物などが不便だから

問10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。

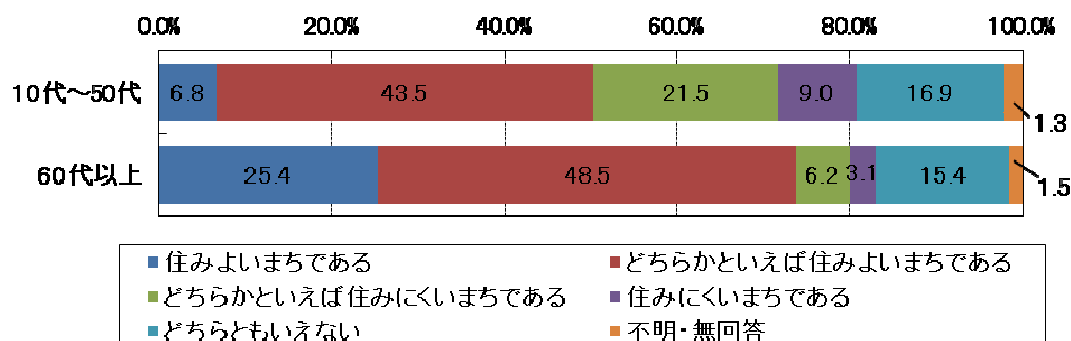
尾鷲市全体の評価として、「どちらかといえば住みよいまちである」が46.3%、「住みよいまちである」が17.6%となっており、合計で63.9%が「住みよいまち」としています。

N = 443



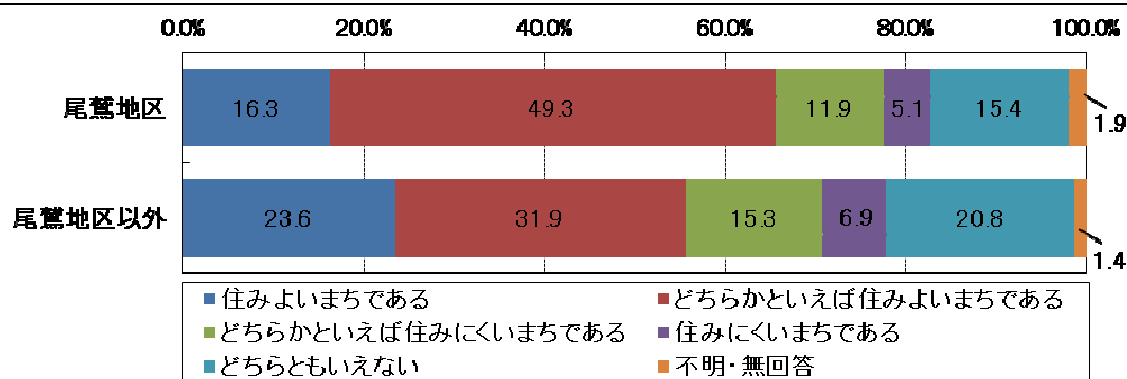
問 10×年代

尾鷲市全体の評価を年代別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「60代以上」では7割強であるのに対し、「10代～50代」では約5割であり、年代による差が見られます。



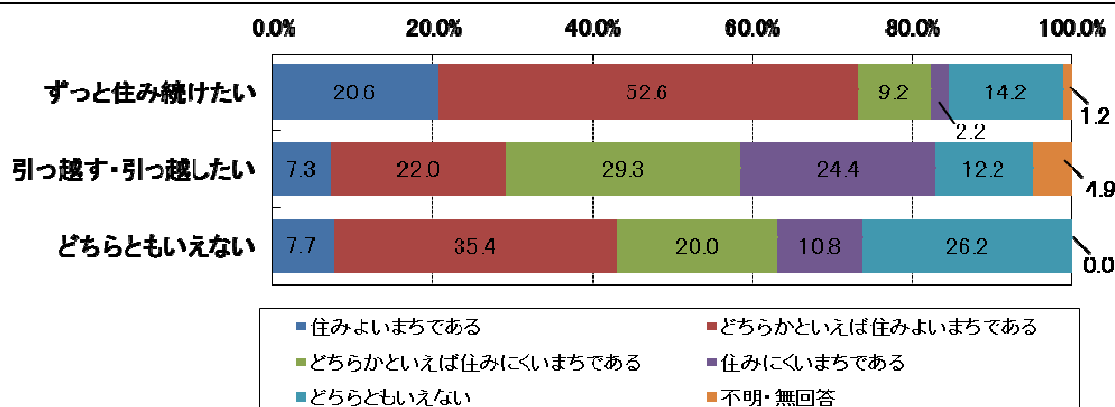
問 10×居住地区

尾鷲市全体の評価を地区別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、尾鷲地区で6割台半ば、尾鷲地区以外で5割台半ばであり、尾鷲地区の方が高くなっています。



問 10×定住意向

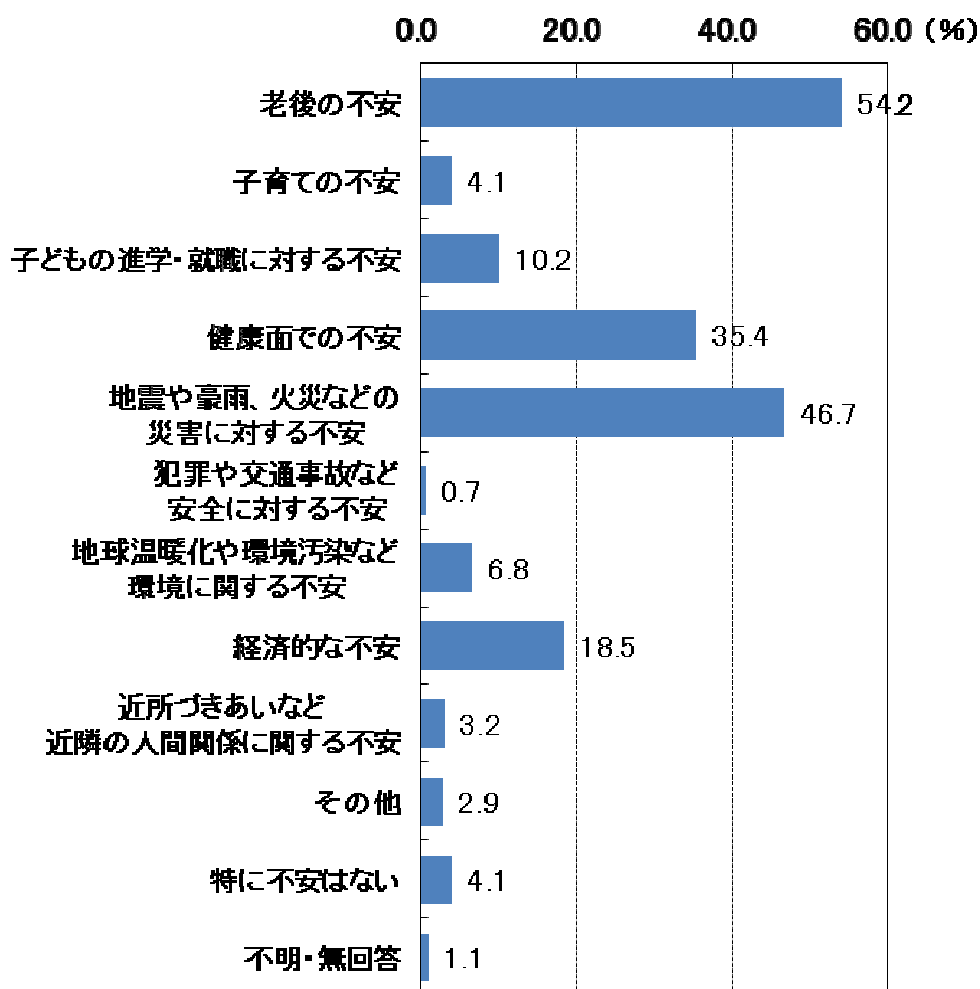
尾鷲市全体の評価を定住意向別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「ずっと住み続けたい」と答えた方では7割以上となっているのに対し、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では約3割にとどまり、定住意向による差が見られます。



問 11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。(複数回答)

現在不安に感じていることとして、「老後の不安」が 54.2%、「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」が 46.7%、「健康面での不安」が 35.4%となっています。

N=443

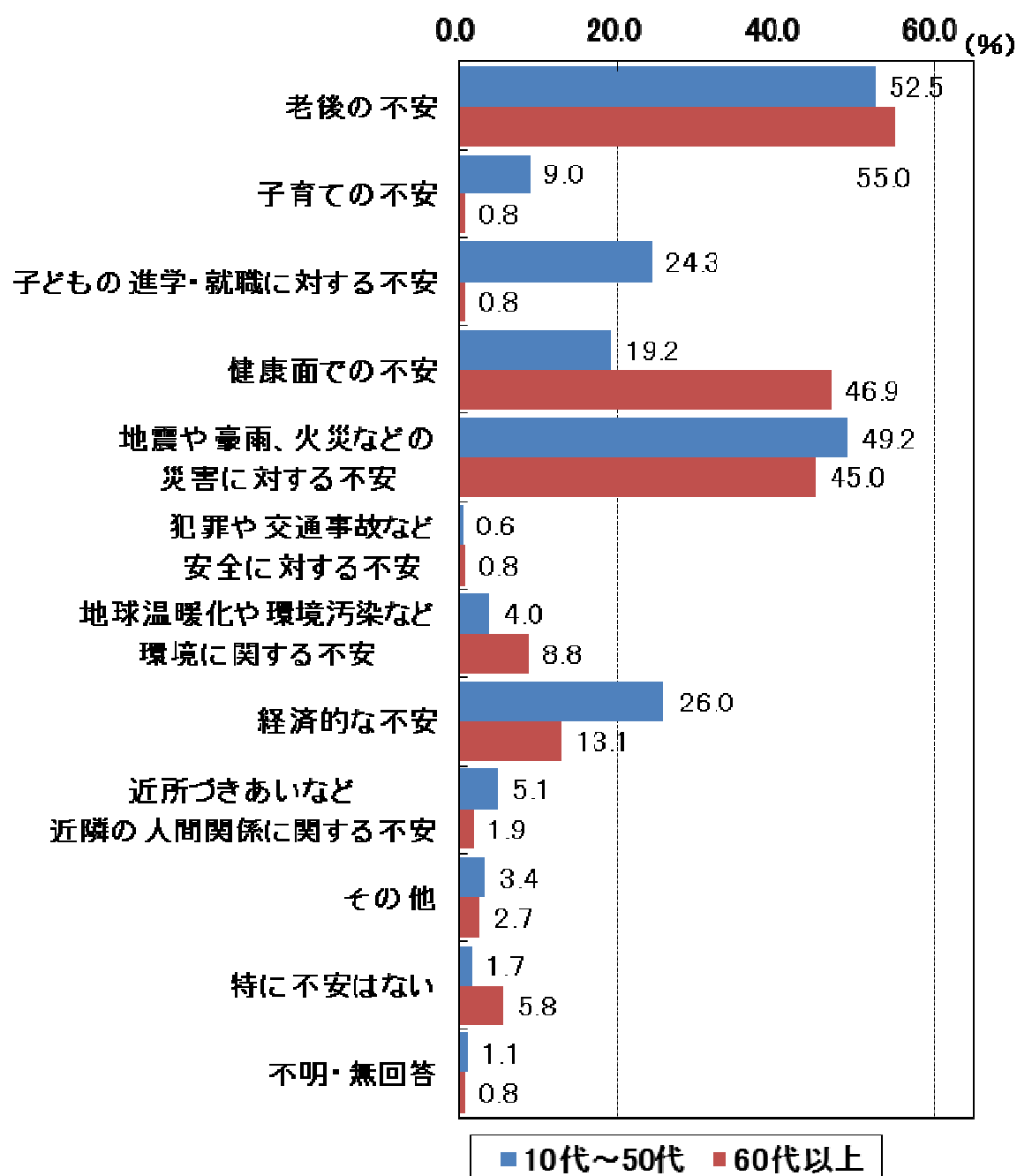


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
病院・医療に対する不安
公共交通に対する不安
人口減少に対する不安
市政に対する不安
店舗減少に対する不安

問 11×年代

現在不安に感じていることを年代別に見ると、全年代で「老後の不安」や「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」の割合が高くなっており、次いで「10代～50代」では「経済的な不安」「子どもの進学・就職に対する不安」の割合が高く、「60代以上」では「健康面での不安」「経済的な不安」の割合が高くなっています。

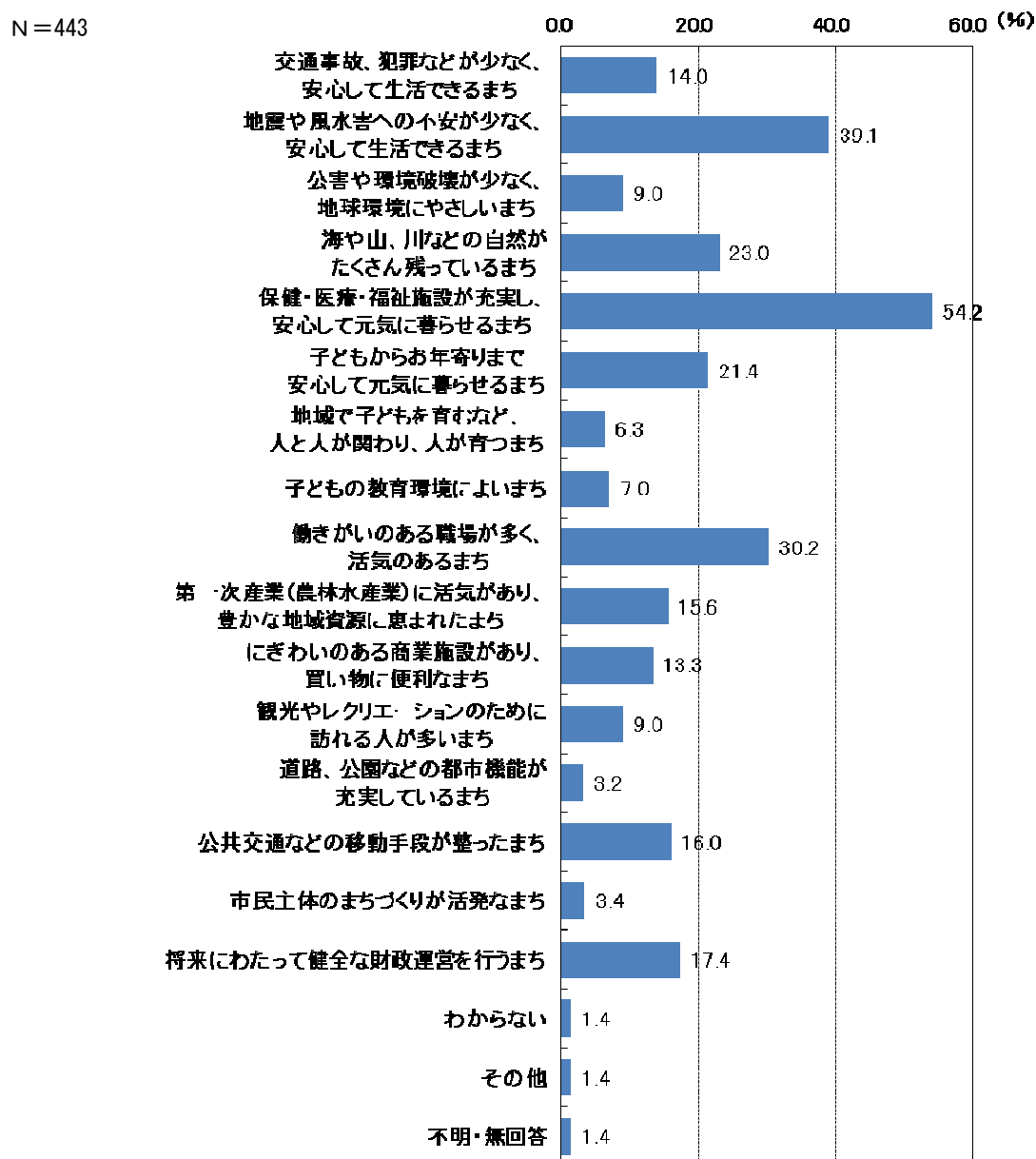


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

3. これからのまちづくりについて

問 12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。
(複数回答)

尾鷲市の将来イメージで希望するものとして、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が 54.2%、「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が 39.1%、「働きがいのある職場が多く、活気のあるまち」が 30.2%となっています。

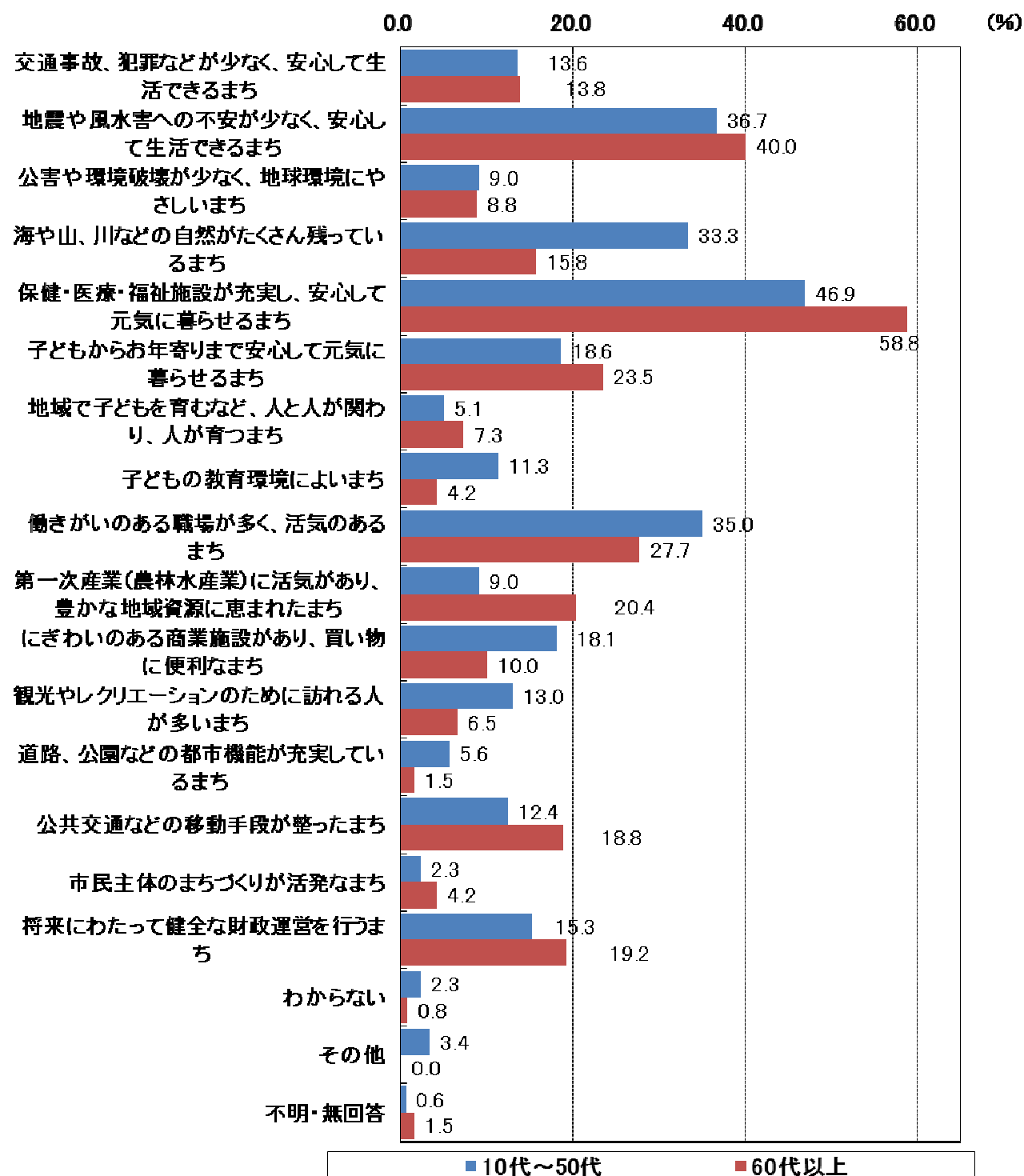


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
日本一のSDGsのまち
暖かい風土を活かし、スポーツ発展に寄与できるまち

問 12×年代

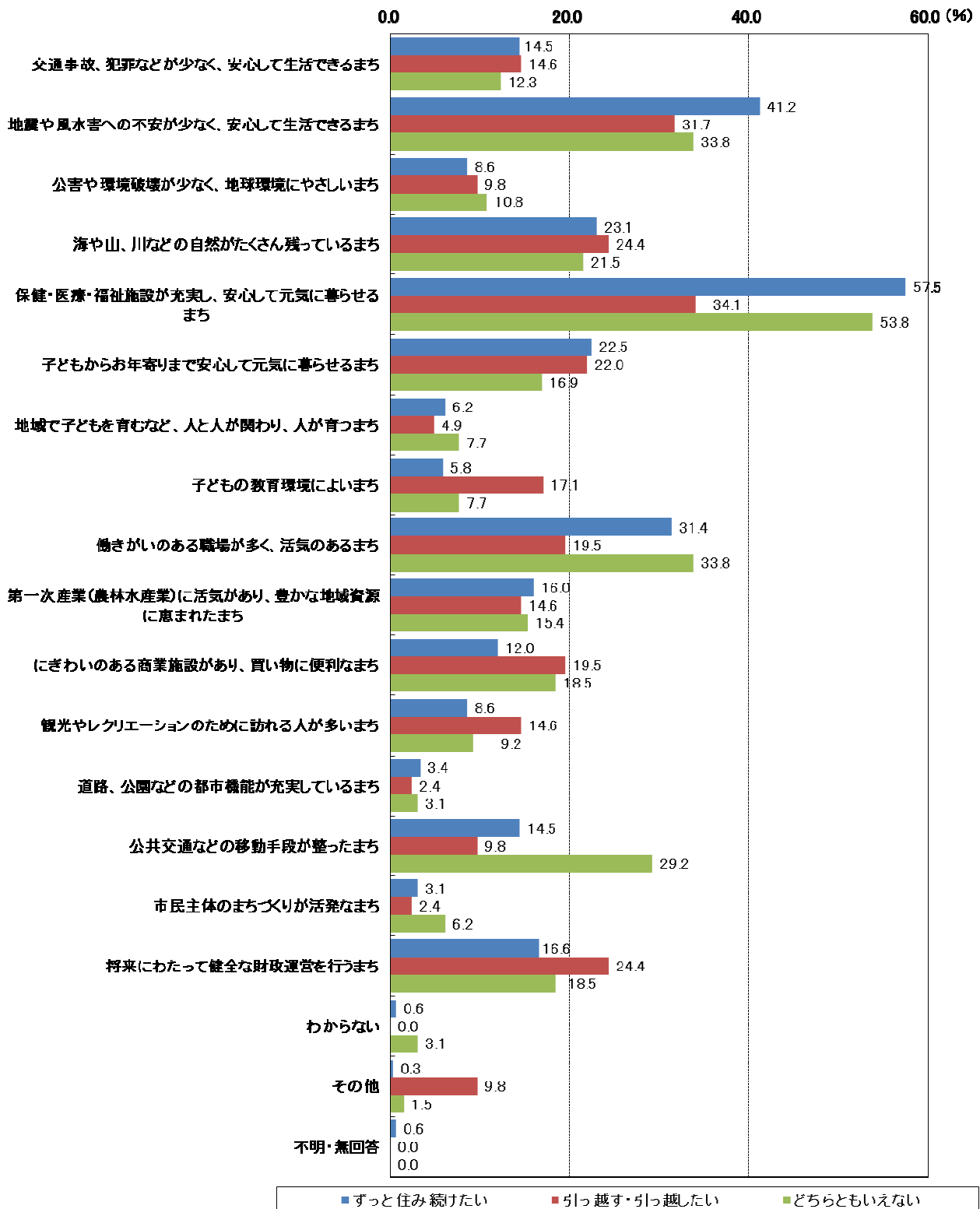
尾鷲市の将来イメージで希望するものを年代別に見ると、全年代で「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」の割合が高くなっており、次いで「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」の割合が高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 12×定住意向

尾鷲市の将来イメージで希望するものを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」「引っ越す・引っ越したい」「どちらともいえない」という、全ての定住意向において「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」の割合が最も高くなっています。

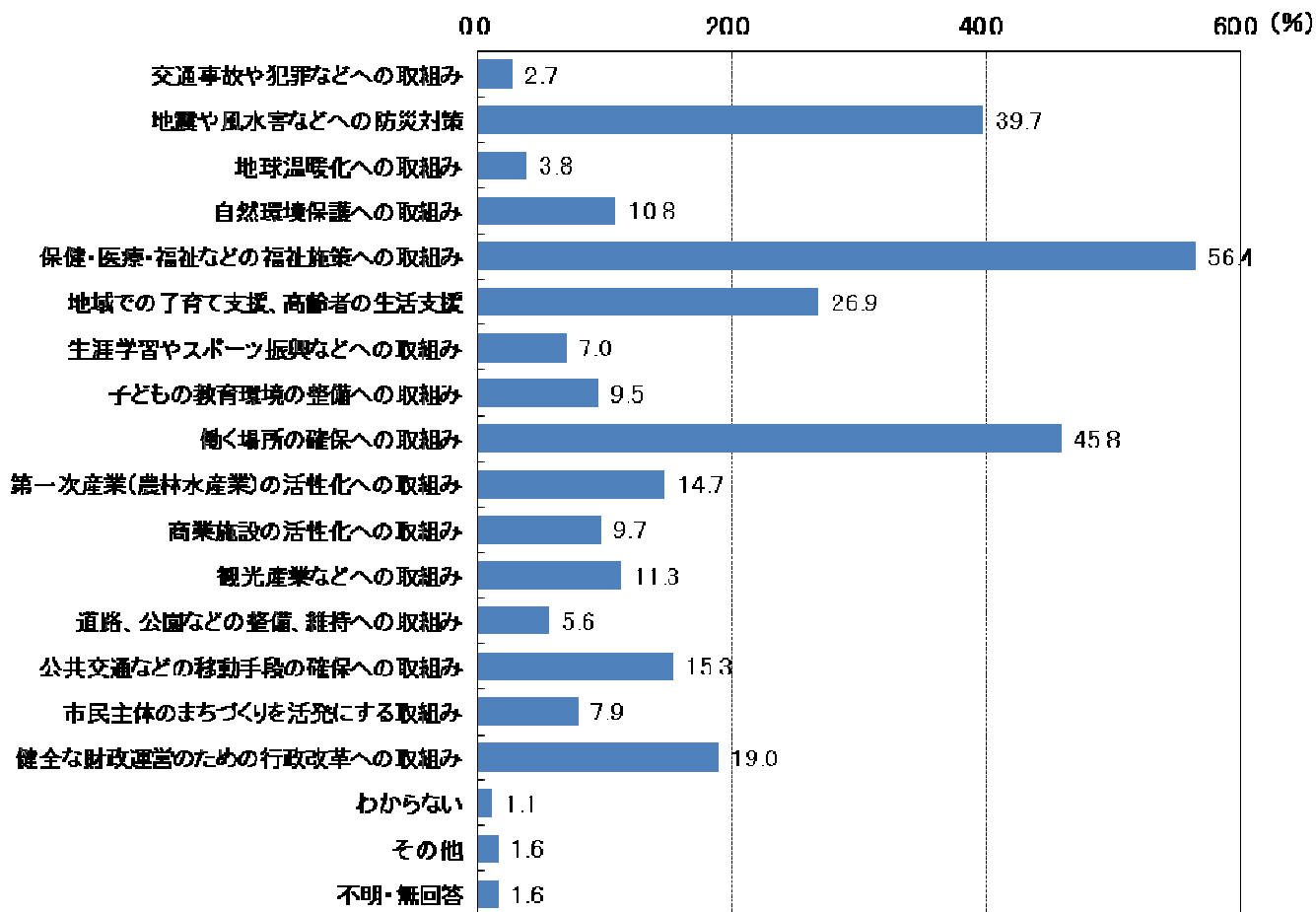


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 13 あなたは、尾鷲市がこれからまちづくりを進めるうえで、市が積極的に進めるべき取り組みは何であるとお考えですか。（複数回答）

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みとして、「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が56.4%、「働く場所の確保への取り組み」が45.8%、「地震や風水害などへの防災対策」が39.7%となっています。

N=443

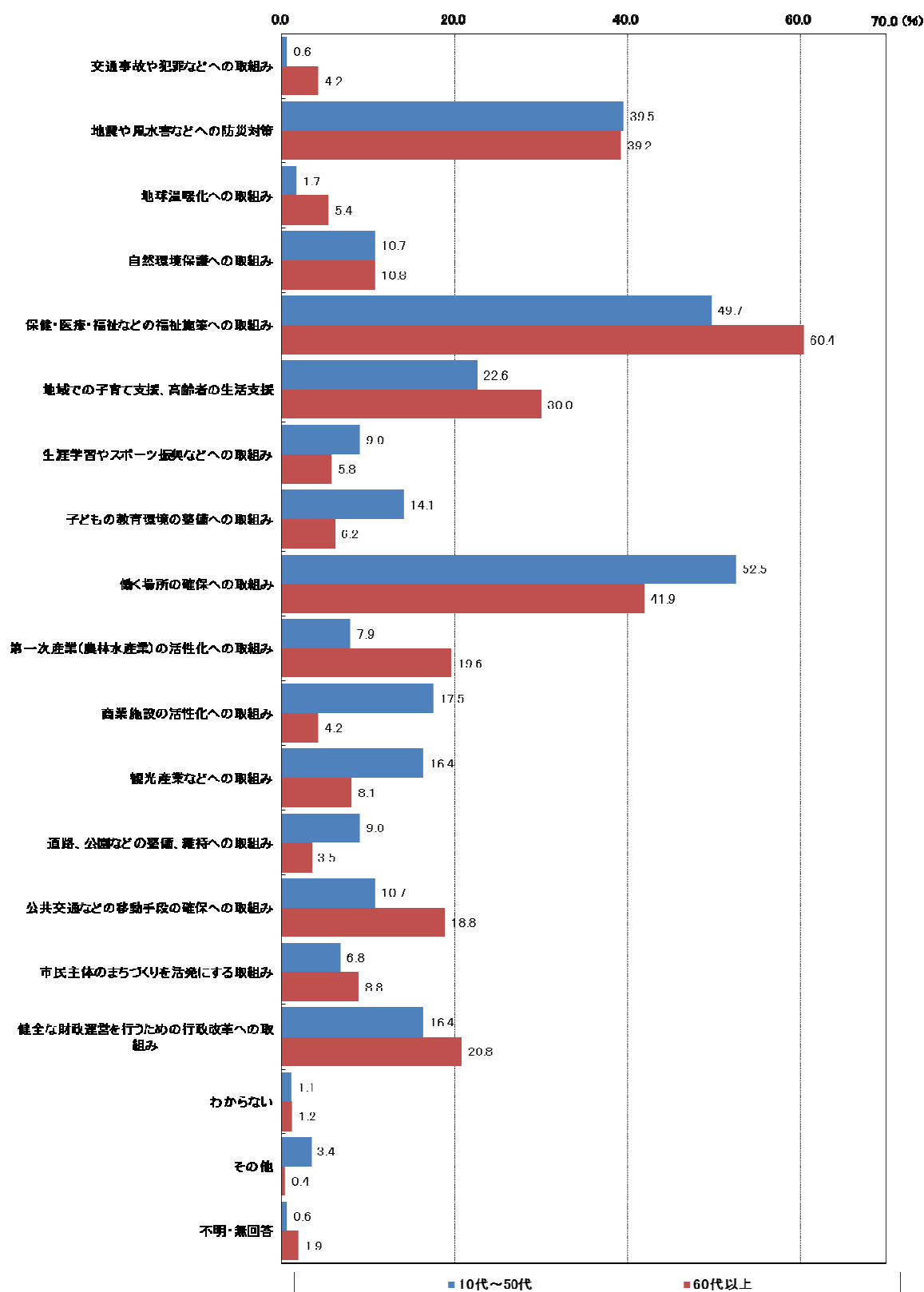


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
市政の取り組みに対するしっかりとした検証
企業やテーマパーク等の誘致
市民の経済を守る取り組み
産業の創出・育成・支援
中電跡地での観光産業などへの取り組み

問 13×年代

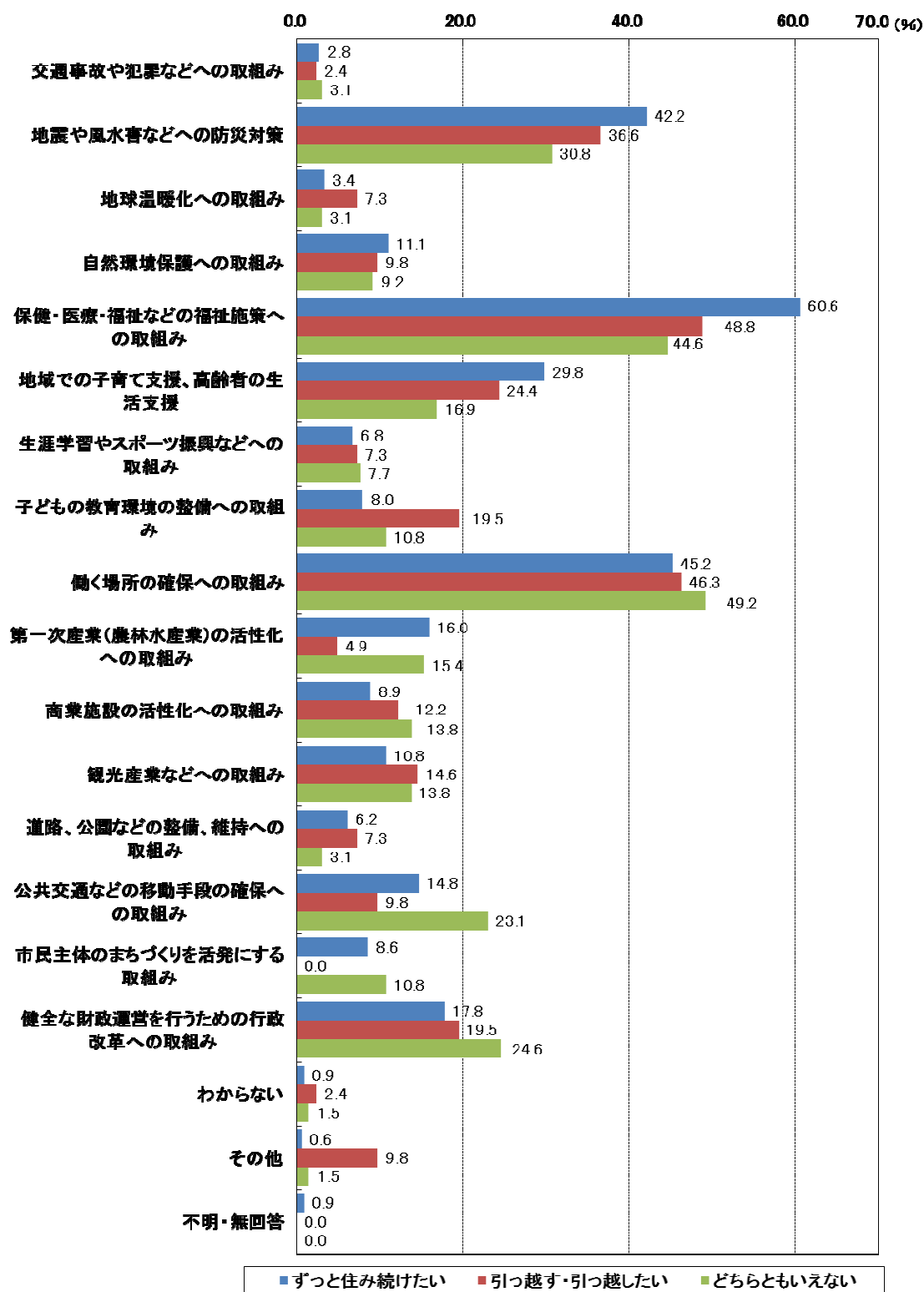
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを年代別に見ると、「10代～50代」では「働く場所の確保への取り組み」の割合が、「60代以上」では「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」の割合が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 13×定住意向

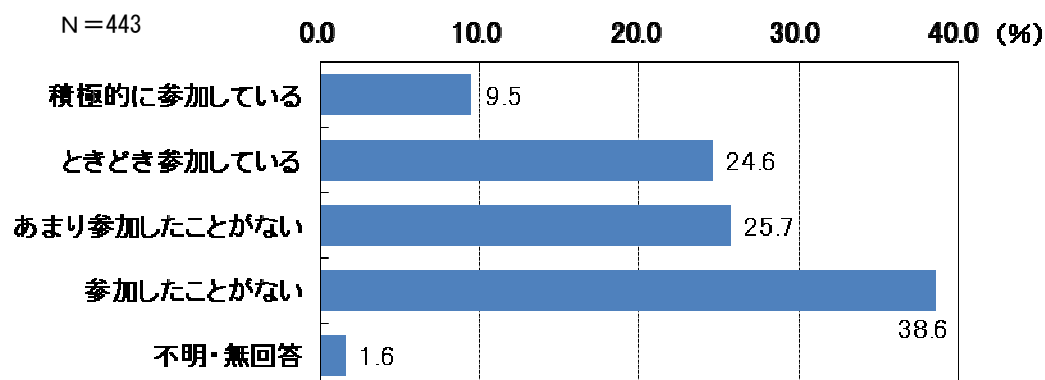
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」の割合が、「どちらともいえない」と答えた方では「働く場所の確保への取り組み」の割合が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

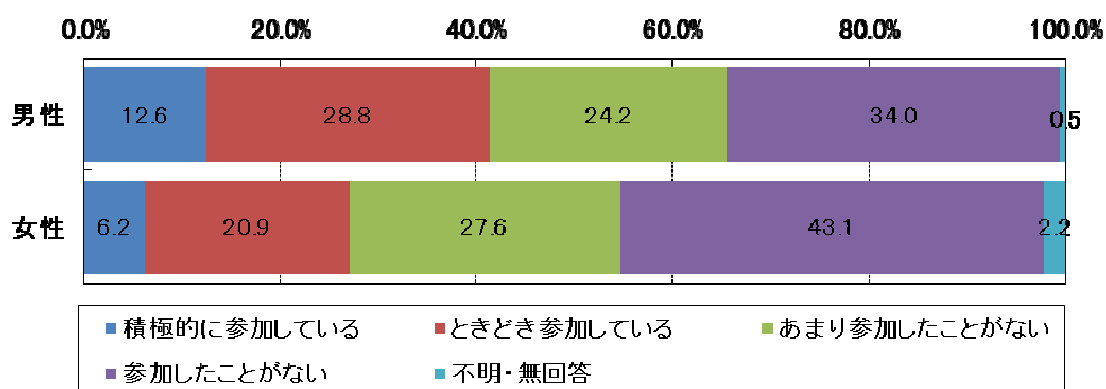
問 14 あなたは、地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがありますか。

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況として、「積極的に参加している」が 9.5%、「ときどき参加している」が 24.6%と、「参加している」層は 3 割台半ばとなっています。



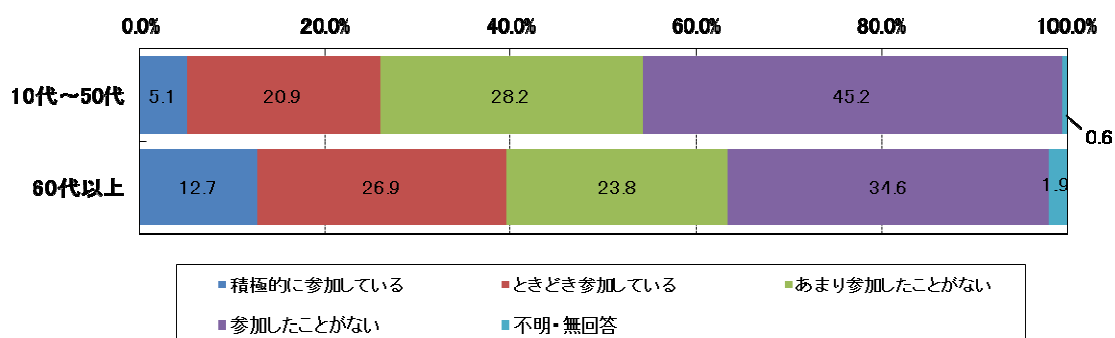
問 14×性別

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を性別ごとに見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は、「男性」の方が高くなっています。



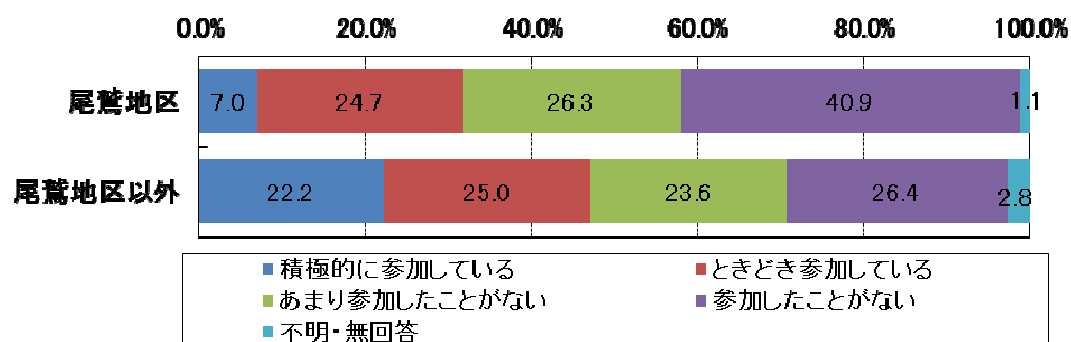
問 14×年代

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を年代別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「20 代～50 代」では 2 割台半ばであるのに対し、「60 代以上」では約 4 割となっています。



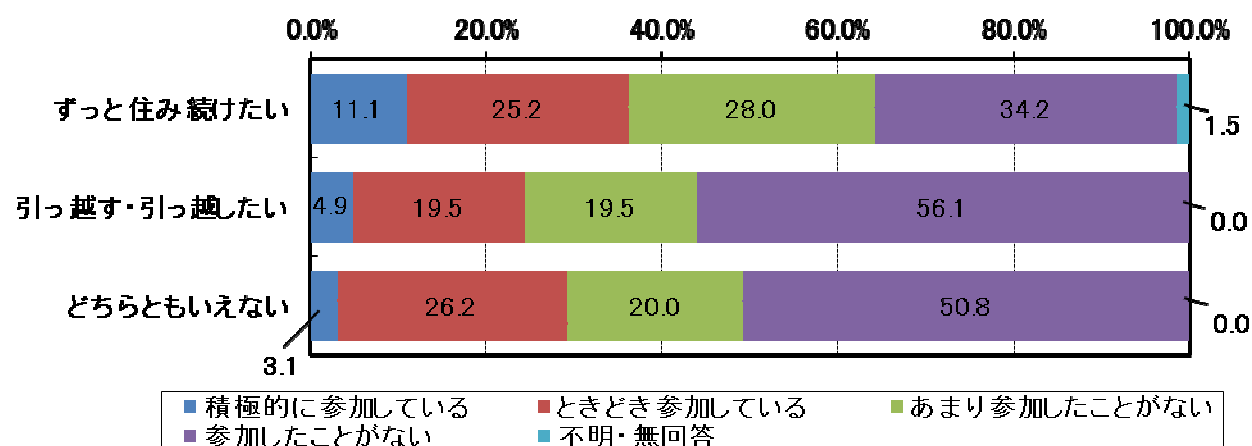
問 14×地区

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を地区別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「尾鷲地区」では 3 割程度であるのに対し、「尾鷲地区以外」では 4 割台後半となっています。



問 14×定住意向

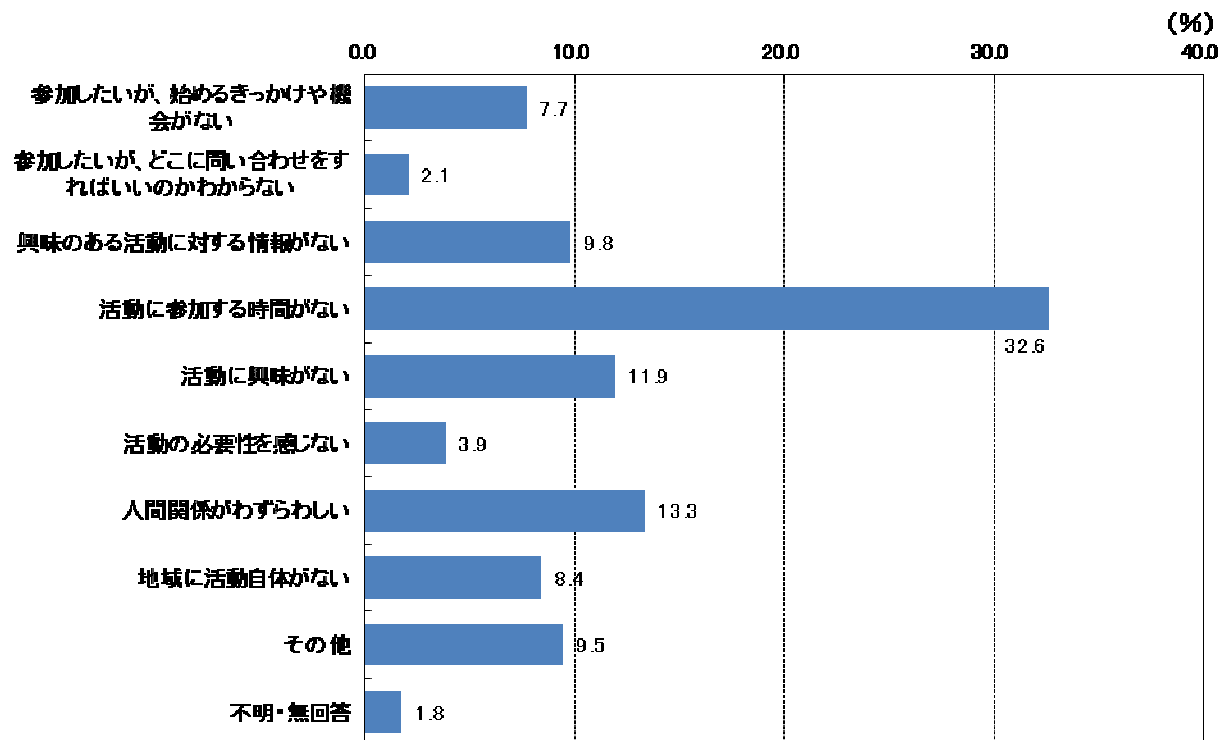
地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を定住意向別に見ると、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方に対し、「ずっと住み続けたい」「どちらともいえない」と答えた方の「積極的に参加している」、「ときどき参加している」の合計割合が高くなっています。



問 15 【問 14 で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」とお答えになった方におうかがいします。】「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された理由は何ですか。

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由として、「活動に参加する時間がない」が 32.6%、「人間関係がわずらわしい」が 13.3%、「活動に興味がない」が 11.9% となっています。

N=285

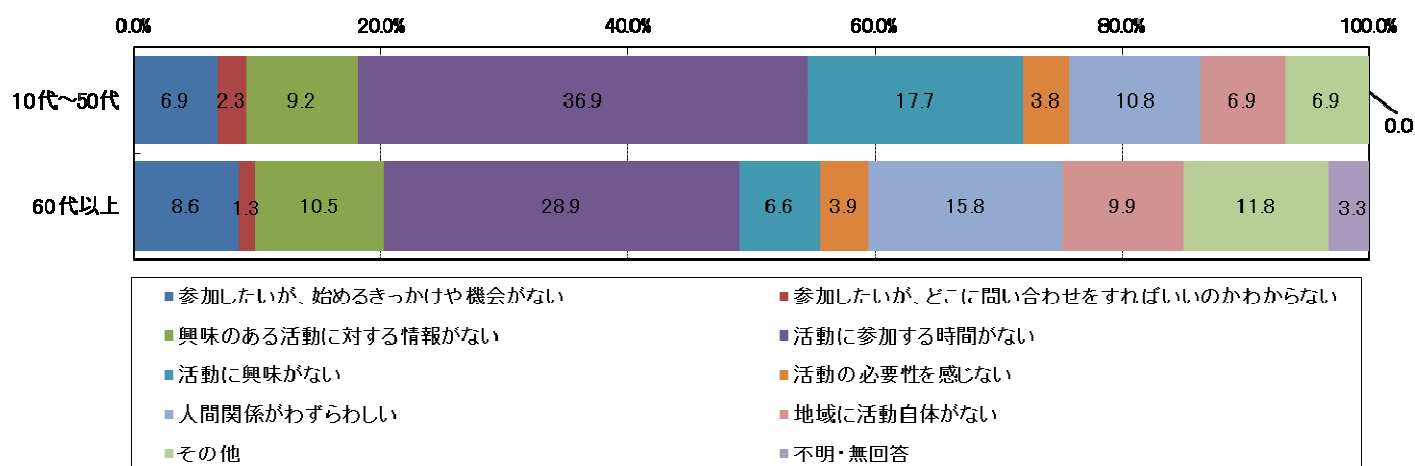


※ 複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
健康上の不安があるため

問 15×年代

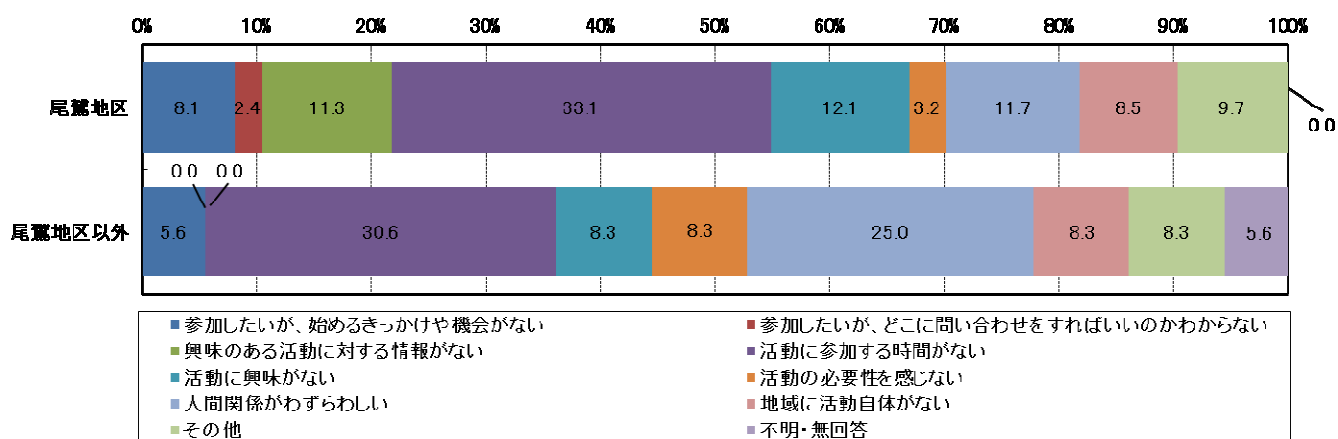
地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を年代別に見ると、全年代で「活動に参加する時間がない」の割合が最も高く、次いで「10代～50代」では「活動に興味がない」の割合が、「60代以上」では「人間関係がわずらわしい」の割合が高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

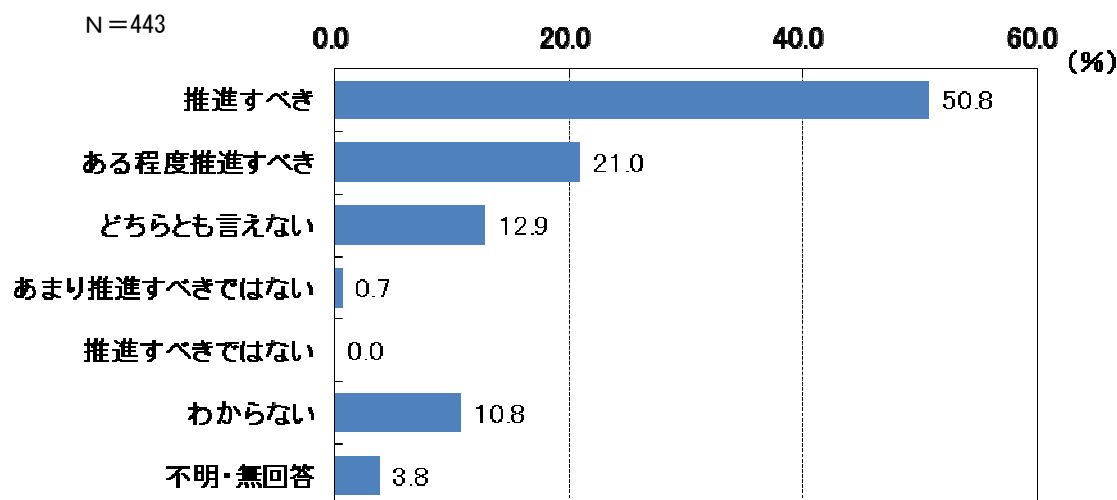
問 15×地区

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を地区別に見ると、全年代で「活動に参加する時間がない」の割合が最も高く、次いで「尾鷲地区」では「活動に興味がない」の割合が、「尾鷲地区以外」では「人間関係がわずらわしい」の割合が高くなっています。



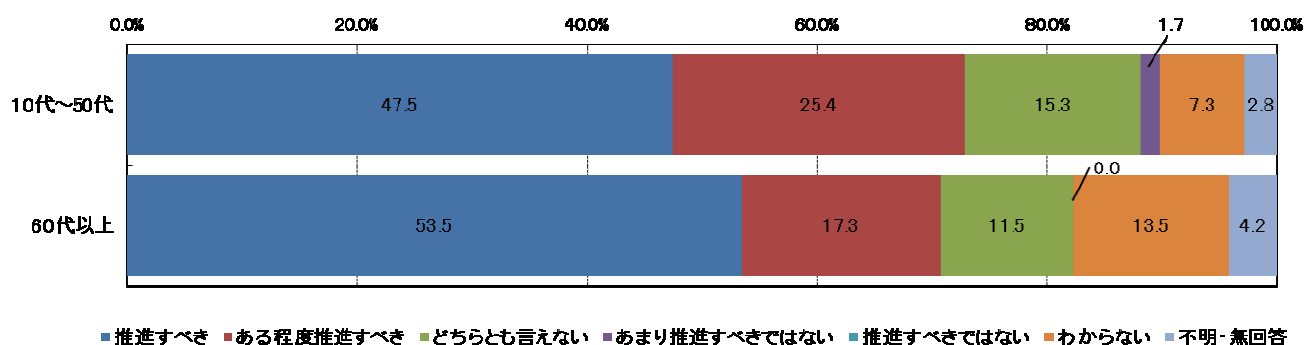
問 16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みんなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて、「推進すべき」が50.8%、「ある程度推進すべき」が21%と、「推進」した方が良いとの回答が7割以上となっています。



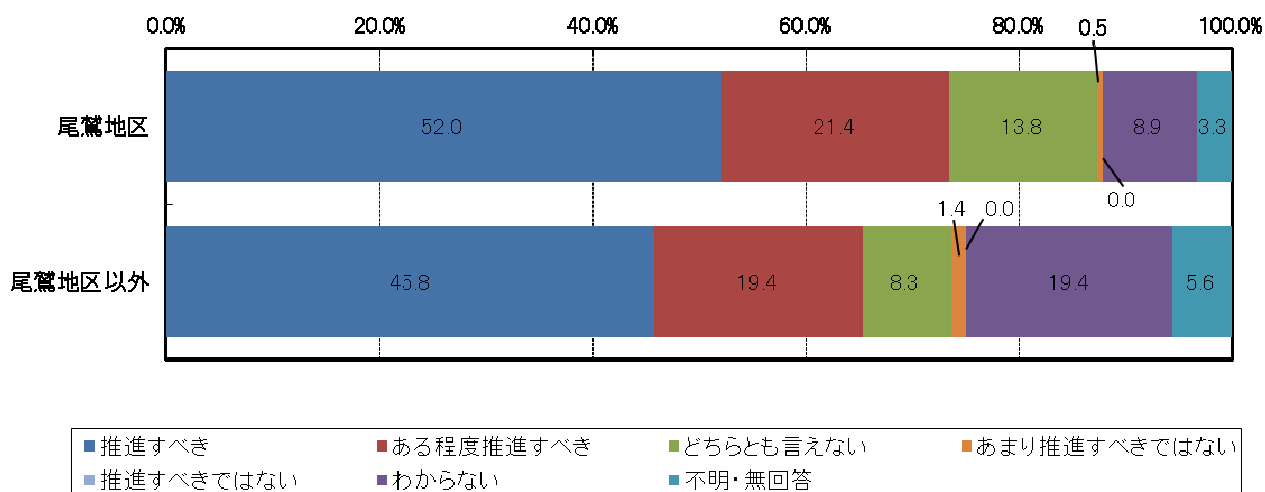
問 16×年代

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて年代別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」と答えた方は、全年代で7割以上となっています。



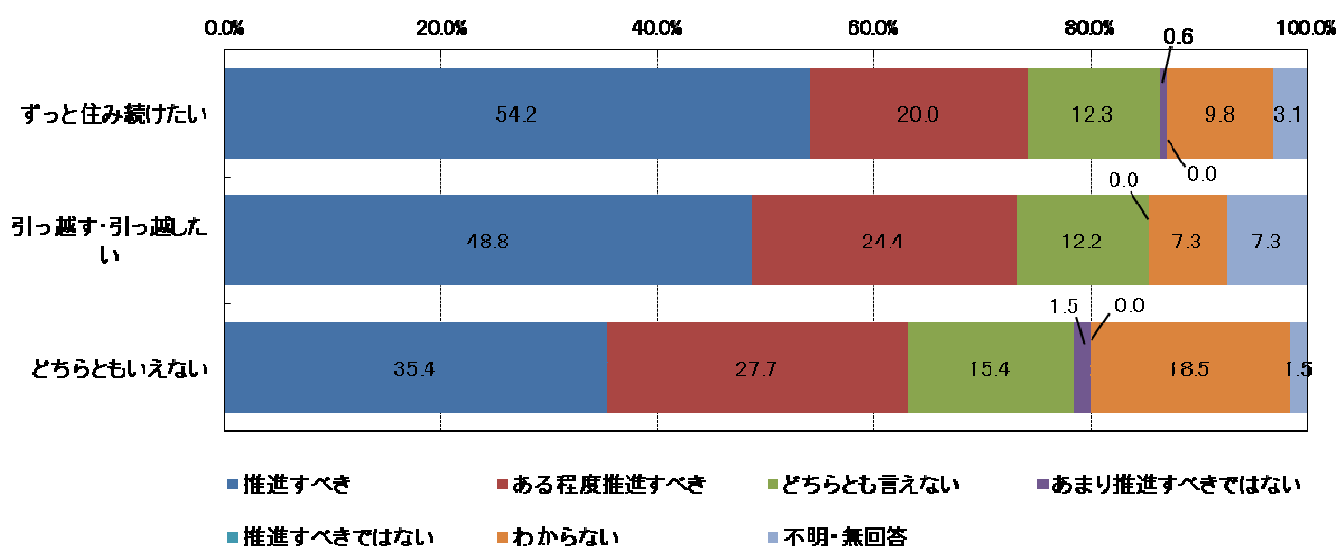
問 16×地区

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて地区別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計では、「尾鷲地区」のほうが高くなっています。



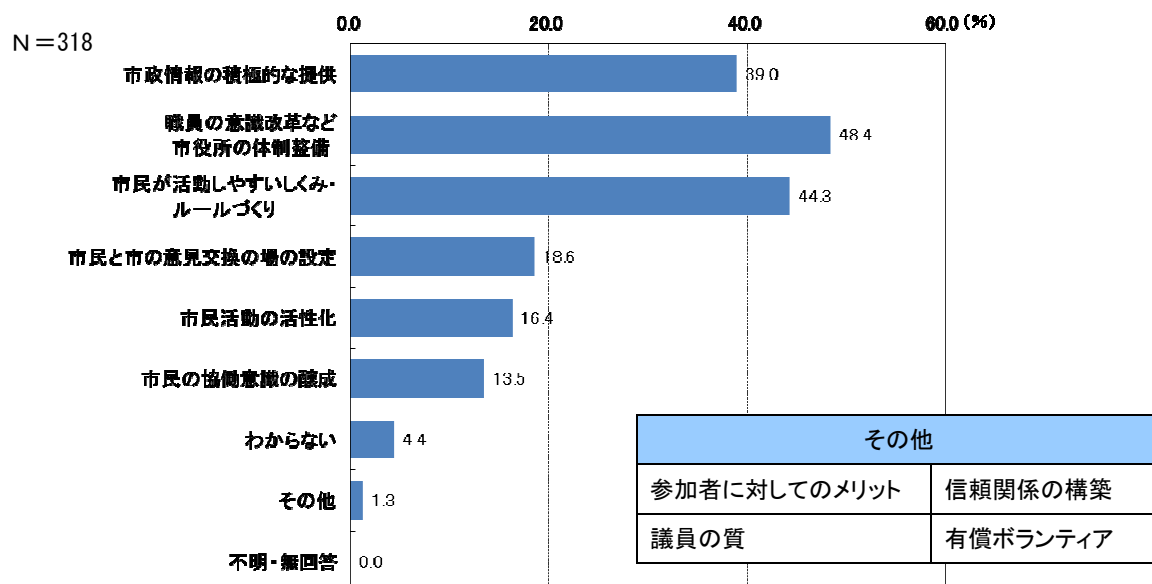
問 16×定住意向

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて定住意向別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計では、「ずっと住みたい」「引っ越す・引っ越したい」共に同程度となっています。



問 17 【問 16 で「推進すべき」または「ある程度推進すべき」とお答えになった方におうかがいします。】市民との協働のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（複数回答）

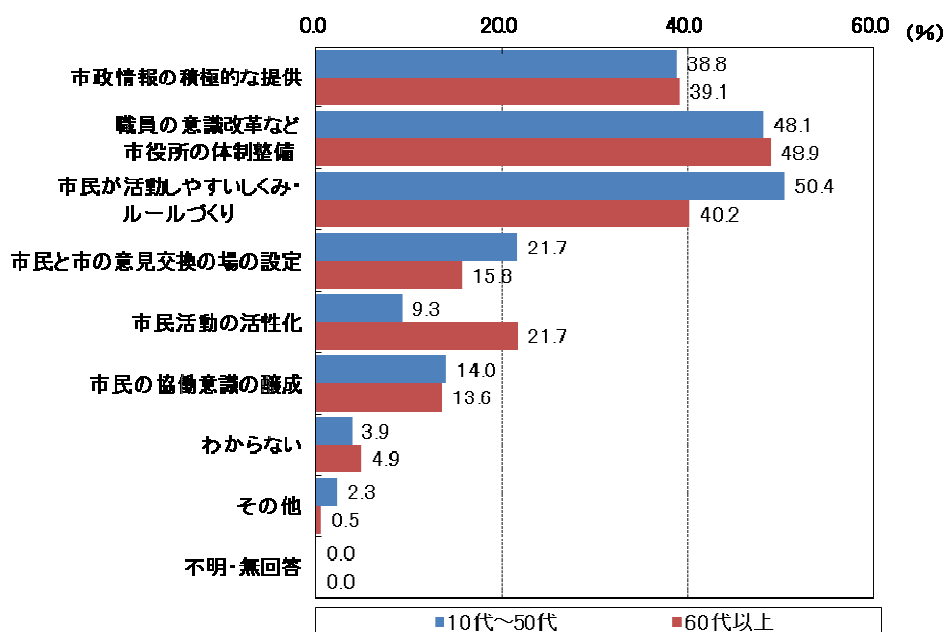
市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきこととして、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が 48.4%、「市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり」が 44.3% となっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 17×年代

市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきことを年代別に見ると、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が全年代で高くなっています。

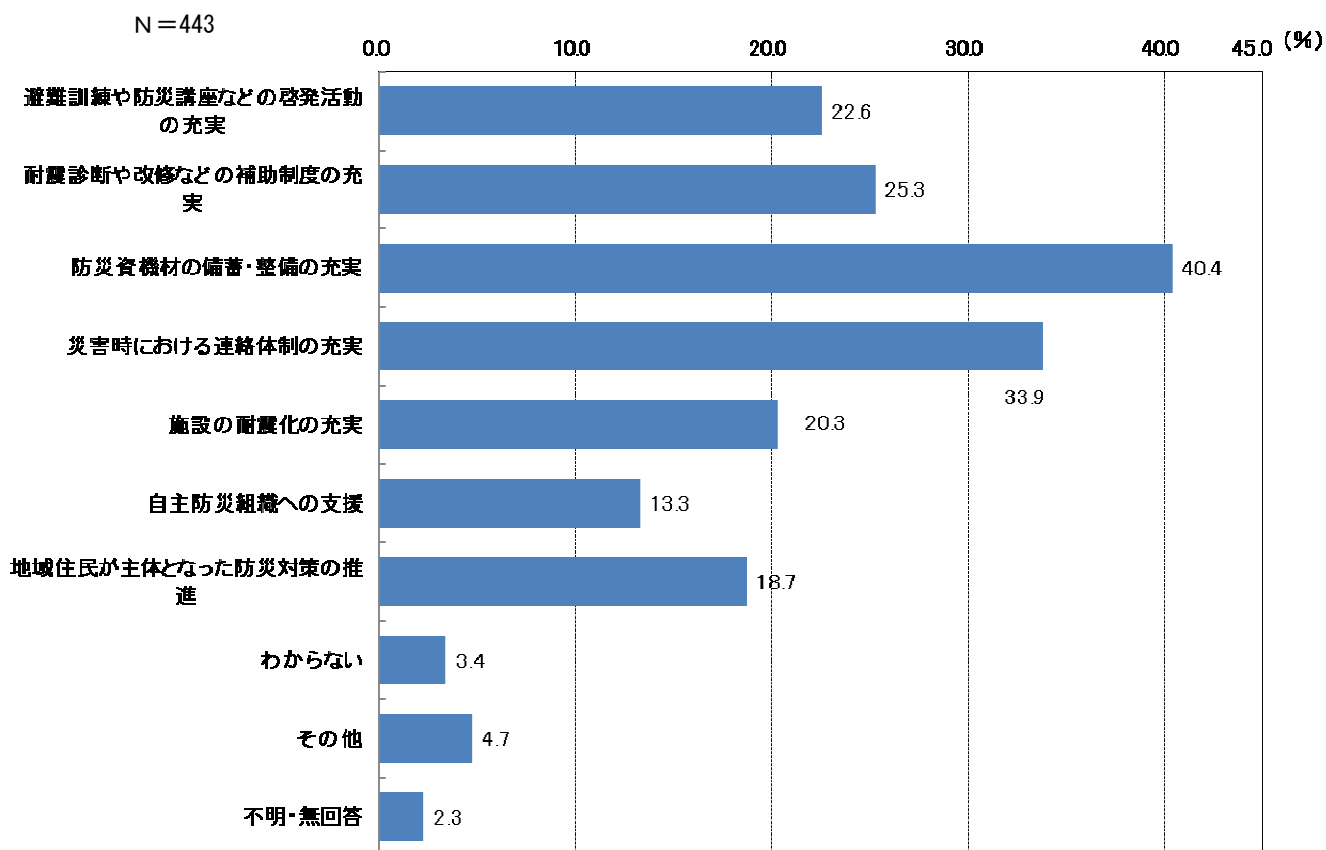


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【安全】

問 18 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が 40.4%、「災害時における連絡体制の充実」が 33.9%、「耐震診断や改修などの補助制度の充実」が 25.3%となっています。

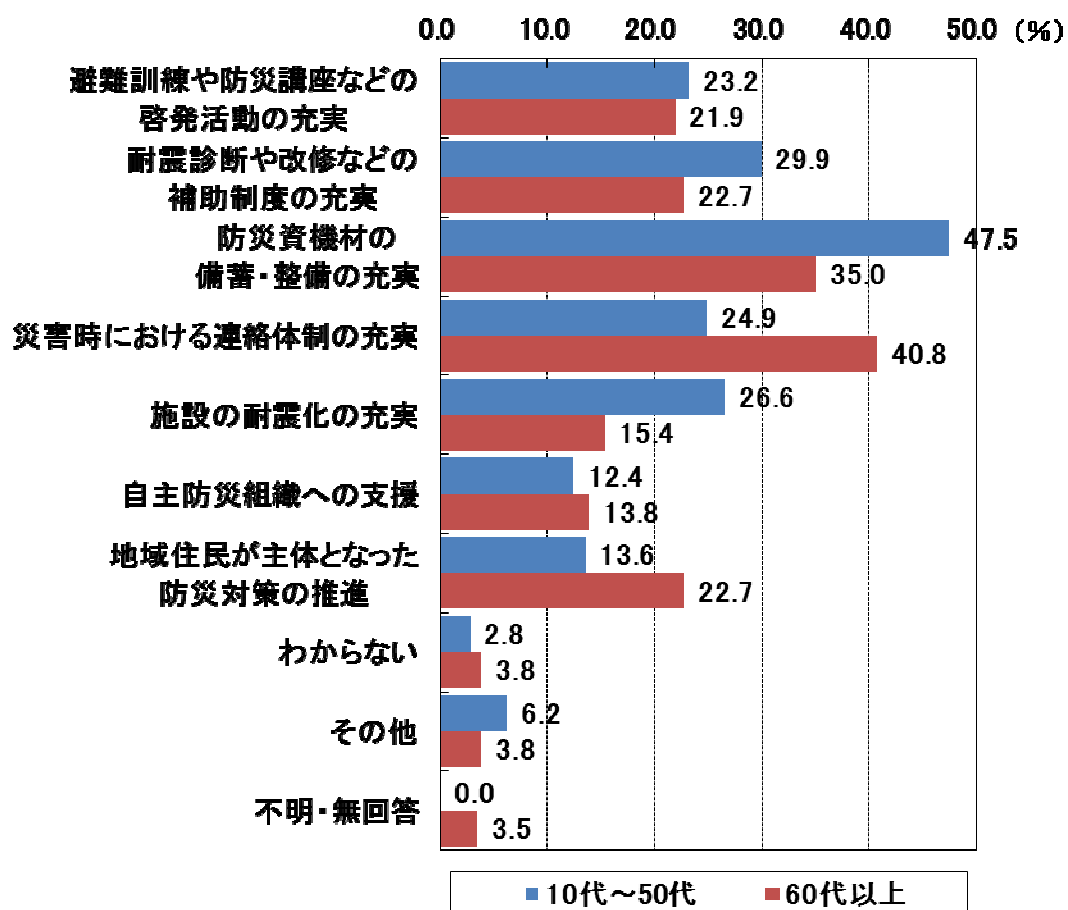


※ 複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他		
津波避難場所・タワーの設置	高台への移転によるまちづくり	空き家の撤去
民間事業者との連携	自治会単位での集会所の整備	防災拠点の整備
正確な情報提供	避難経路の確保	危険箇所の把握

問 18×年代

災害による被害防止策を年代別に見ると、「10～50 代」では「防災資器材の備蓄・整備の充実」の割合が、「60 代以上」では「災害時における連絡体制の充実」の割合が高くなっています。



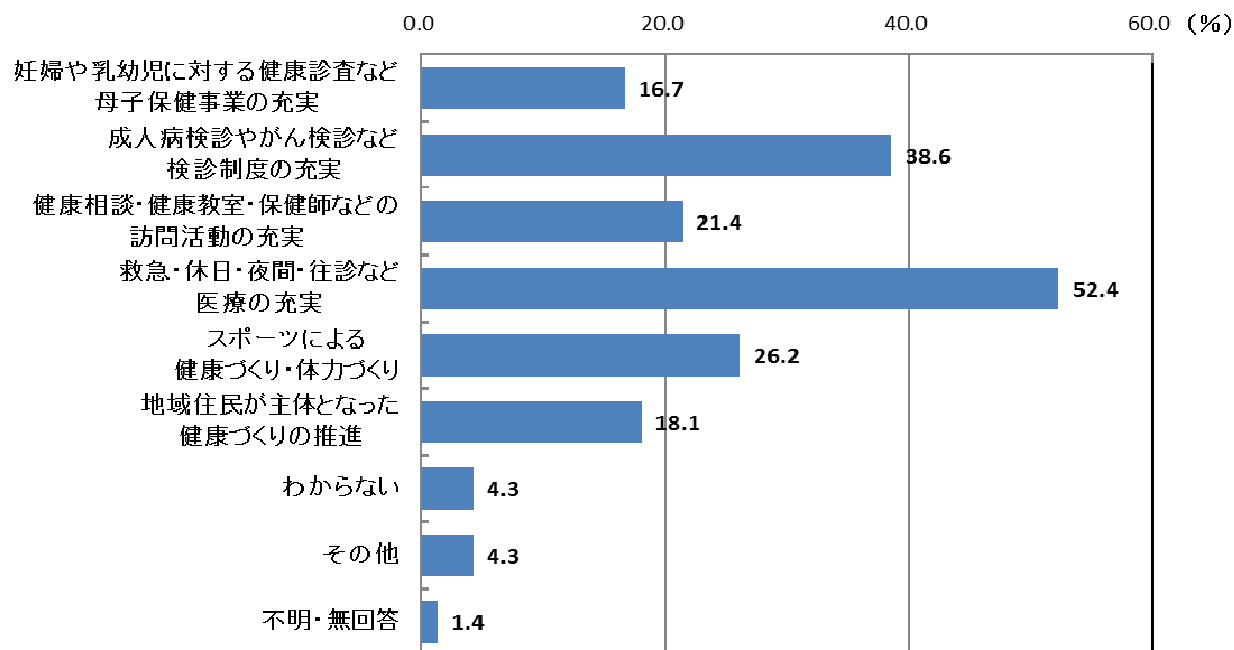
※ 複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【健康づくり】

問 19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

健康づくりの充実策として、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」が 52.4%、「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」が 38.6%、「スポーツによる健康づくり・体力づくり」が 26.2%となっています。

N=443

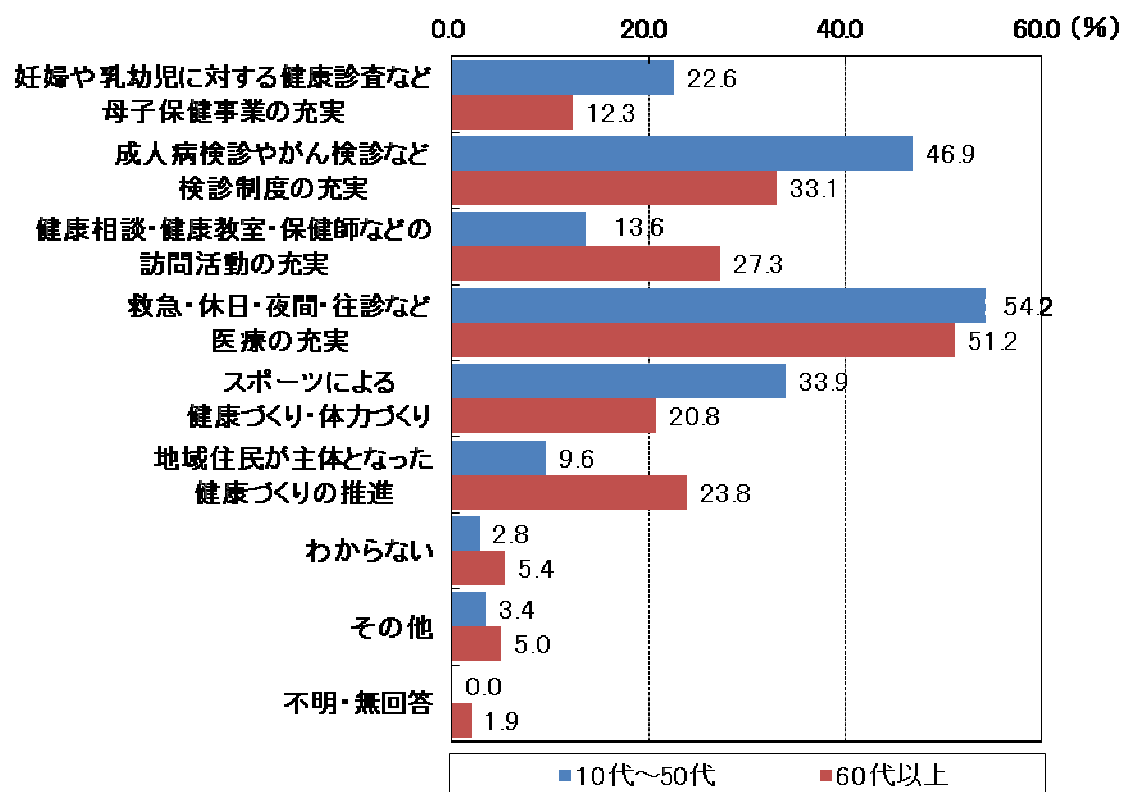


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
散歩、外出がしやすい環境の整備
スポーツ施設の整備
カルチャーサークルの充実
健康づくりの成果の見える化
総合病院の民営化
食生活で健康づくり日本一を目指す
啓発の強化

問 19×年代

健康づくりの充実策を年代別に見ると、全年代で「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」の割合が最も高く、次いで「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」の割合が高くなっています。



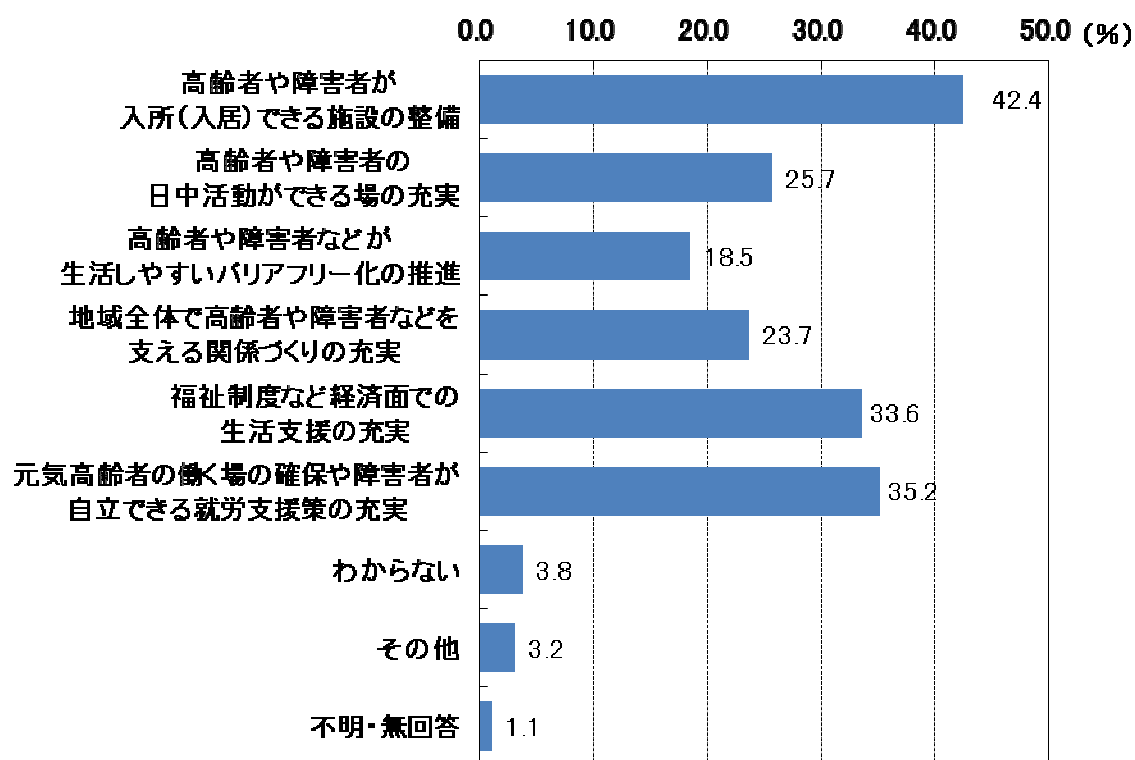
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【福祉】

問 20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

福祉の充実策として、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」が42.4%、「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」が35.2%、「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が33.6%となっています。

N=443

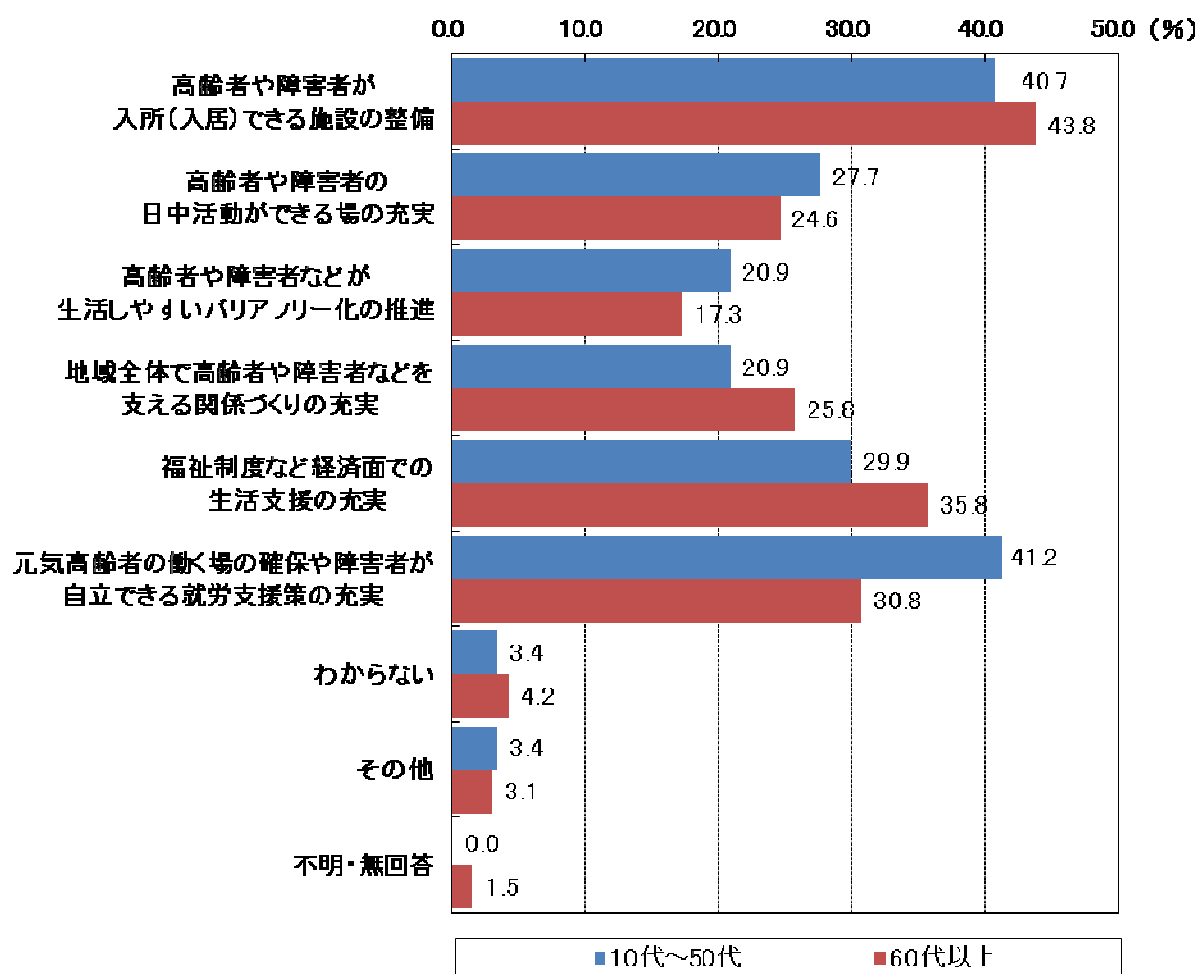


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他	
公園や憩いの場の充実	移動支援や買い物支援の充実
若年層への福祉の充実	高齢者等福祉サービス事業所の従業者確保の推進
在宅医療の充実	健康増進を図るためスポーツ施設の充実
義務教育期間中の医療費無償化	生活保護の認定基準見直し

問 20×年代

福祉の充実策を年代別に見ると、「10代～50代」では「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」の割合が最も高く、次いで「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」の割合が高くなっており、「60代以上」では「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」の割合が最も高く、次いで「福祉制度など経済面での生活支援の充実」の割合が高くなっています。



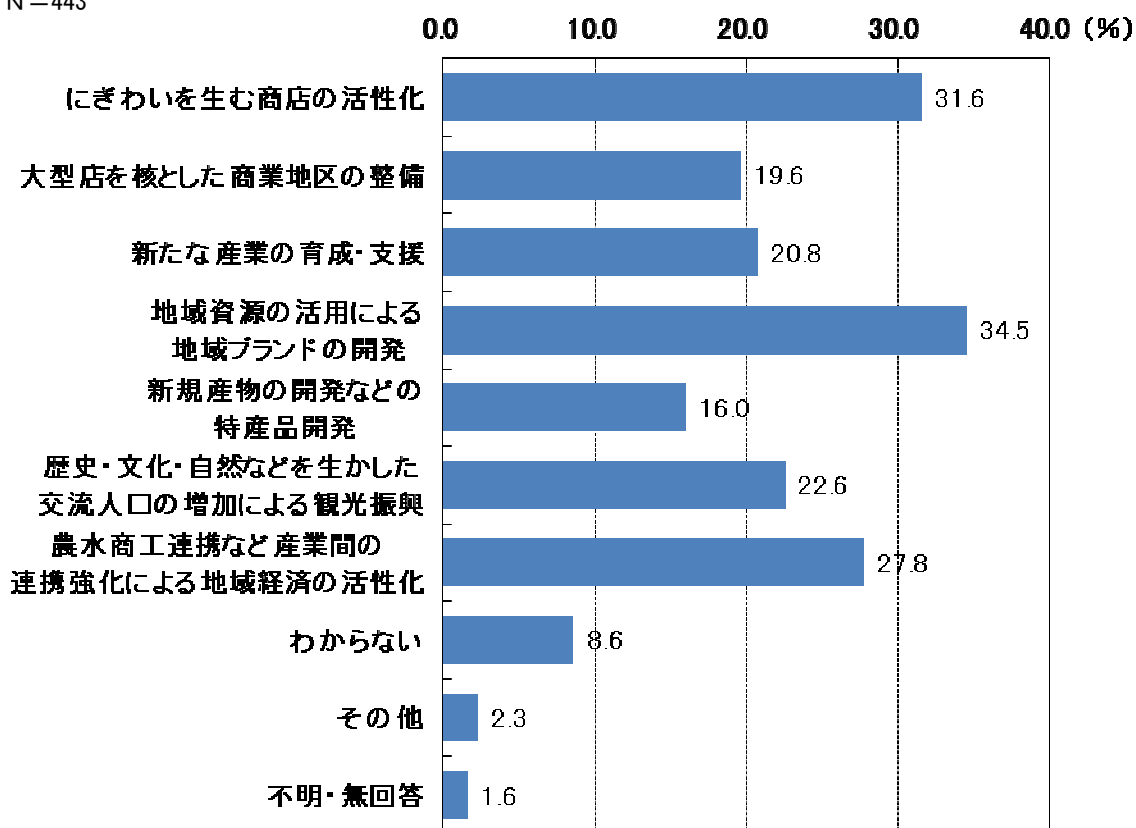
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【産業振興】

問 21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

産業振興・活性化策として、「地域資源の活用による地域ブランドの開発」が34.5%、「にぎわいを生む商店の活性化」が31.6%、「農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化」が27.8%となっています。

N=443

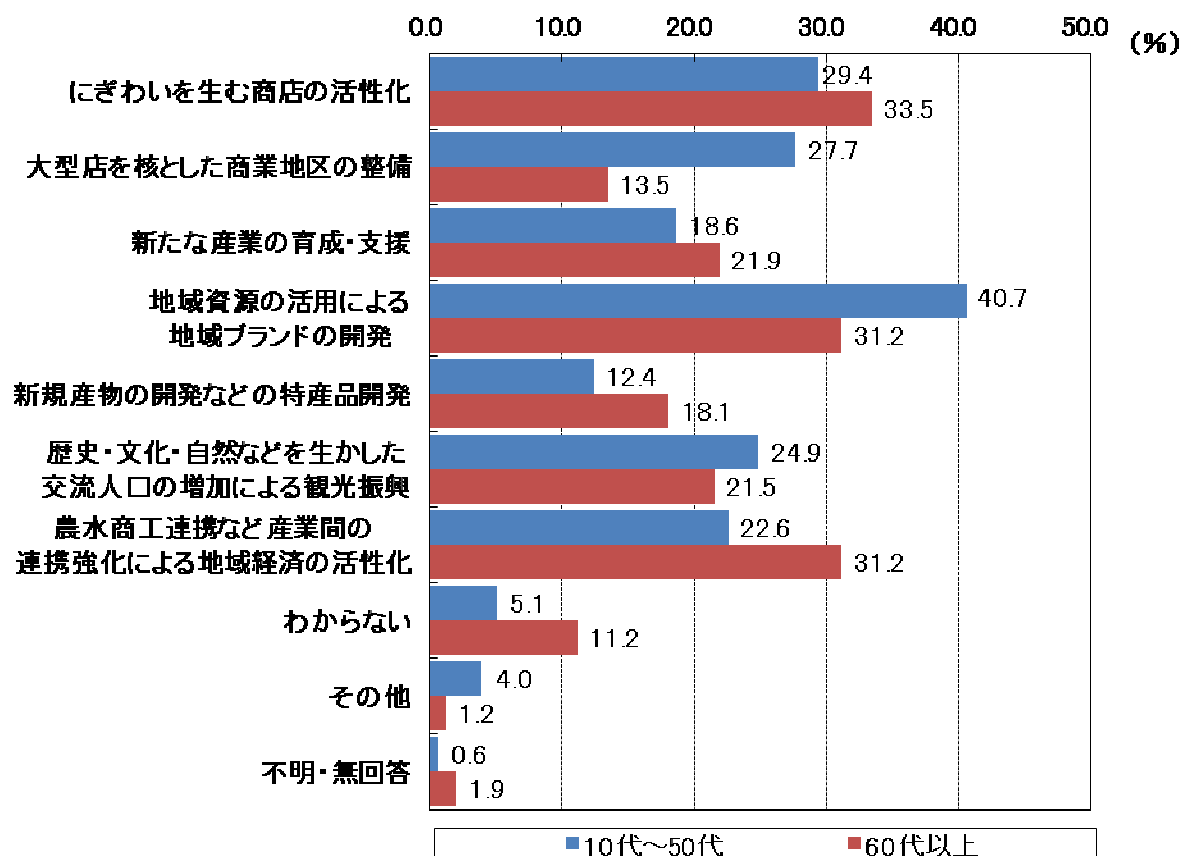


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
ふるさと産品商店長屋の建設
税制優遇やインキュベーションオフィスの整備による創業者の支援
自立していこうとする意識の啓発
スポーツ施設の充実による合宿やキャンプの誘致
企業誘致の推進
有望な人材の確保

問 21×年代

産業振興・活性化策を年代別に見ると、「10代～50代」では「地域資源の活用による地域ブランドの開発」の割合が最も高く、次いで「にぎわいを生む商店の活性化」の割合が高くなっており、「60代以上」では「にぎわいを生む商店の活性化」の割合が最も高く、次いで「地域資源の活用による地域ブランドの開発」、「農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化」の割合が高くなっています。



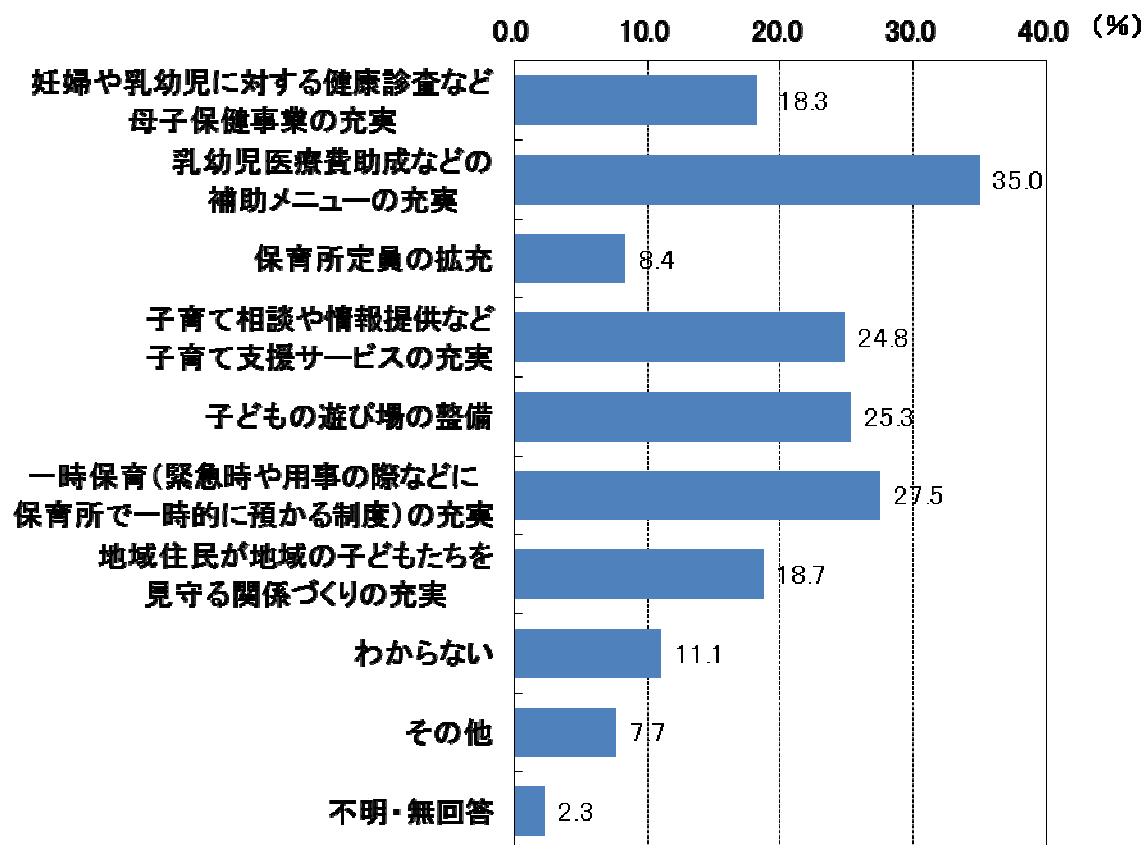
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【子育て環境】

問 22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

少子化への対応として、「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」が 35.0%、「一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度の充実）」が 27.5%、「子どもの遊び場の整備」が 25.3%となっています。

N=443

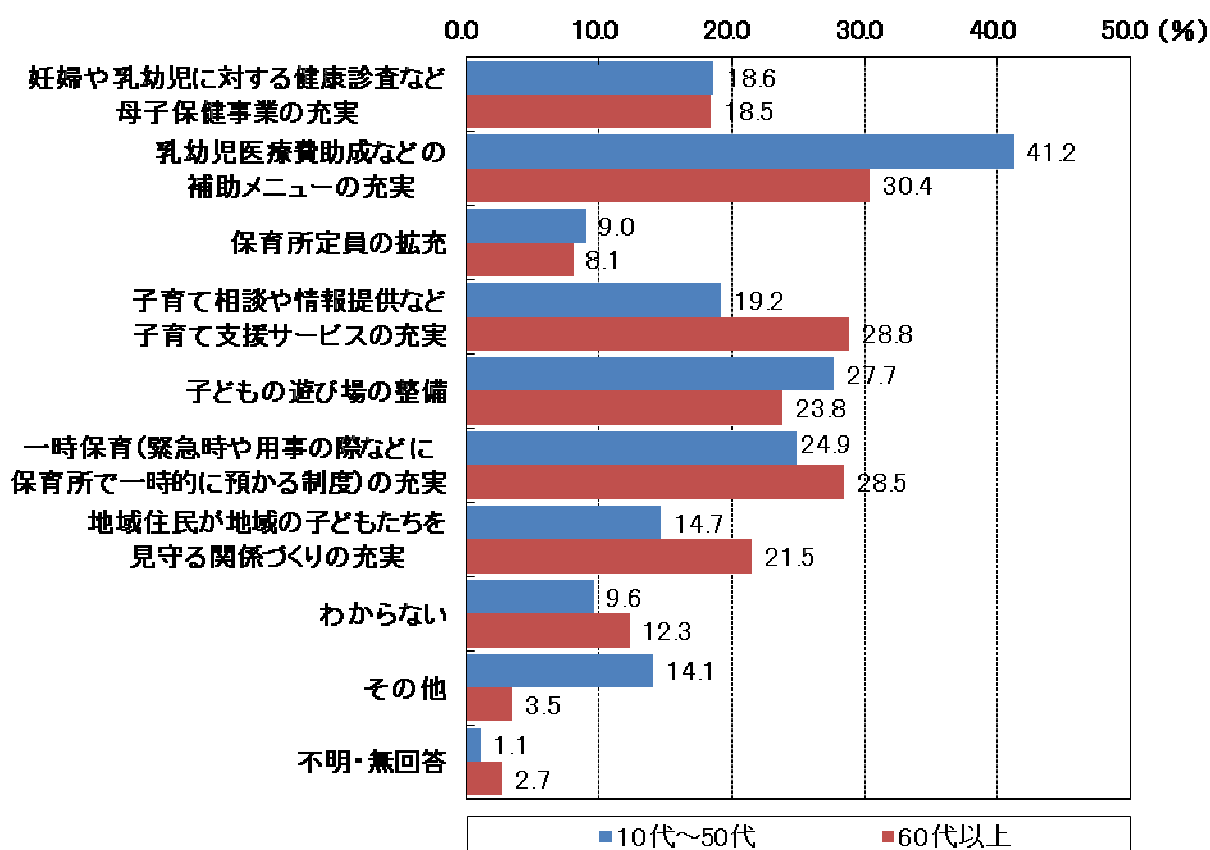


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他	
若年層の働く場の充実、所得向上	若年層が住みたいと思えるまちづくり
職場環境、意識の改善	産婦人科医療、小児科医療の充実
不妊治療への助成	教育の充実、高校まで無償化
奨学金の充実	子ども一人当たりの補助金

問 22×年代

少子化への対応を年代別に見ると、全年代で「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」の割合が最も高く、次いで「10代～50代」では「子どもの遊び場の整備」の割合が、「60代以上」では「子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実」の割合が高くなっています。

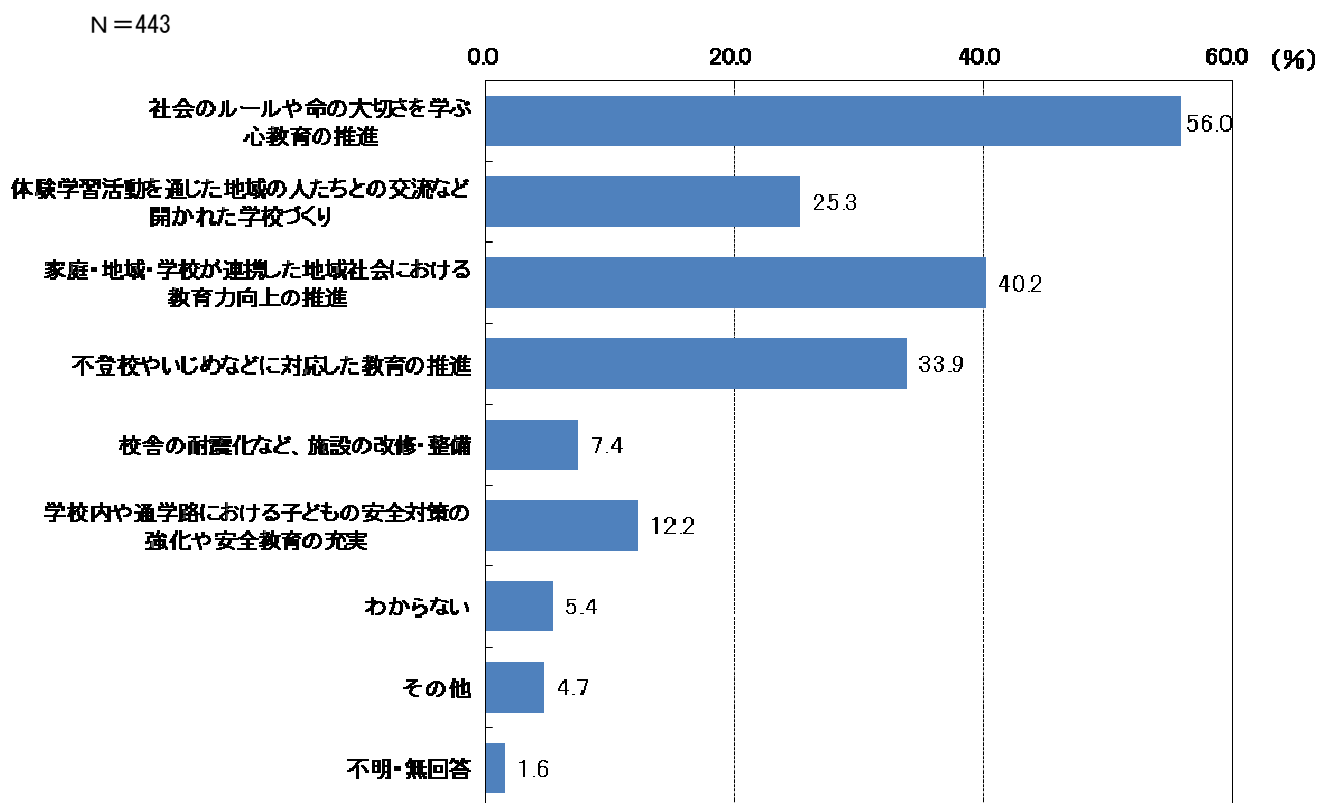


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【学校教育】

問 23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

学校教育の充実策として、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」が56%、「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が40.2%、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が33.9%となっています。

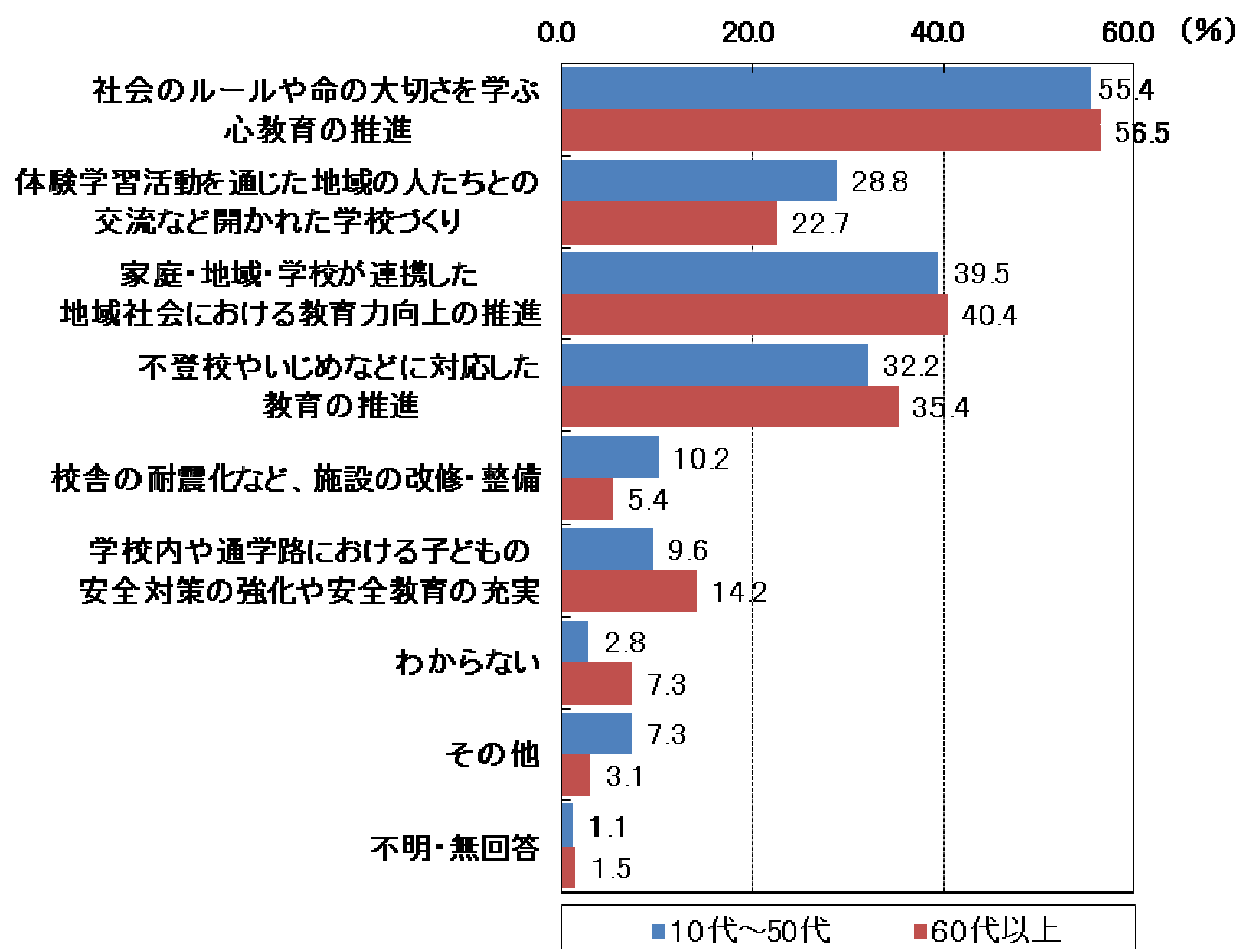


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他	
学力の向上	都会との教育レベルの是正
個々の能力に合った学び、部活動ができる体制づくり	自然との触れ合い
教育設備（ICT機器等）への投資	教師の質の向上、増員

問 23×年代

学校教育の充実策を年代別に見ると、全年代で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」の割合が最も高く、次いで「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」の割合が高くなっています。



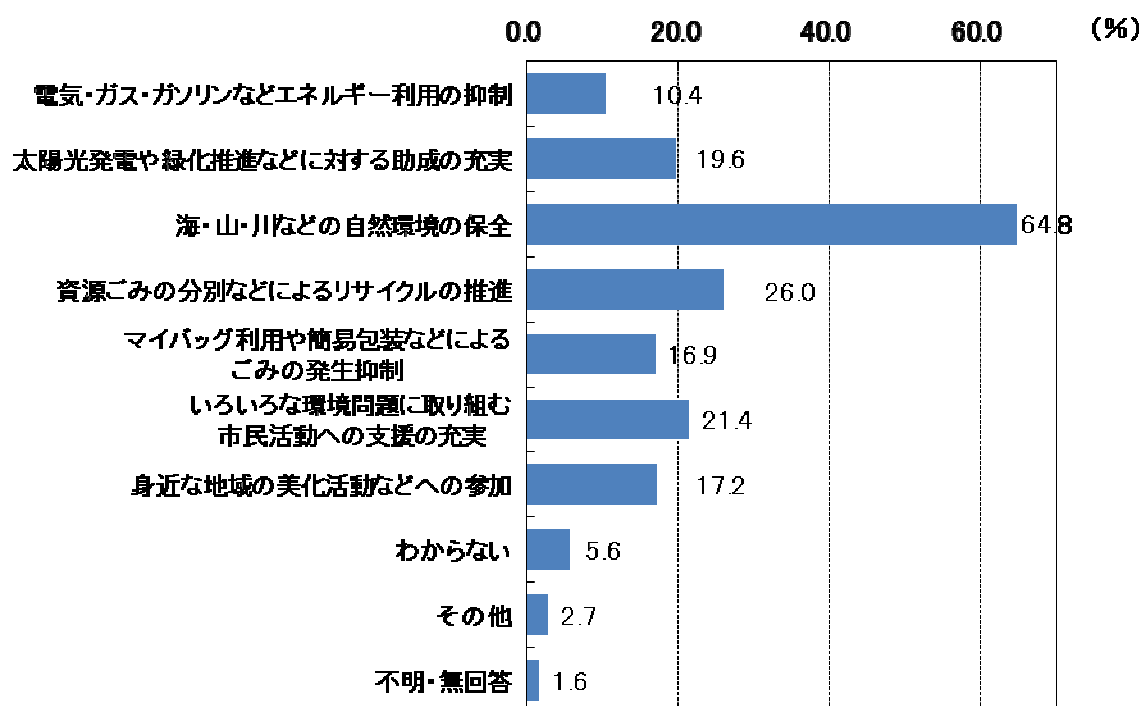
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【環境】

問 24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(複数回答)

環境を良くする方策として、「海・山・川などの自然環境の保全」が64.8%、「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」が26%となっています。

N=443

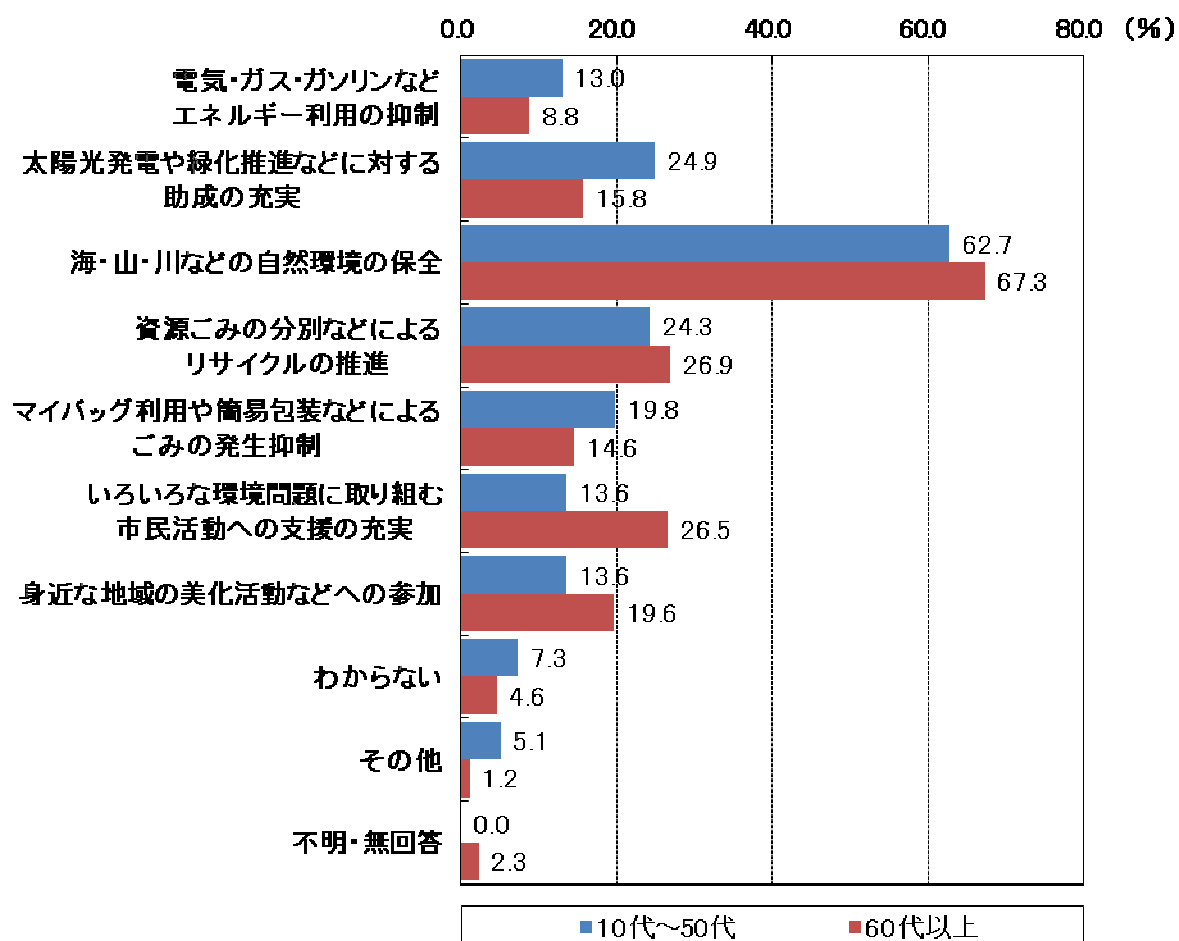


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
SDGs学校日本一、スローライフ、フードロス対策日本一の町への取り組み
ボランティアでゴミ収集した場合の処分費用無償化
徳島県上勝町(ゼロ・ウェイスト運動)のような取り組み
住民の意識の向上
市外からの土砂搬入の規制
不法投棄に対する罰則強化

問 24×年代

環境を良くする方策としては、全年代で「海・山・川などの自然環境の保全」の割合が最も高くなっており、次いで「10代～50代」では「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」の割合が、「60代以上」では「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」の割合が高くなっています。



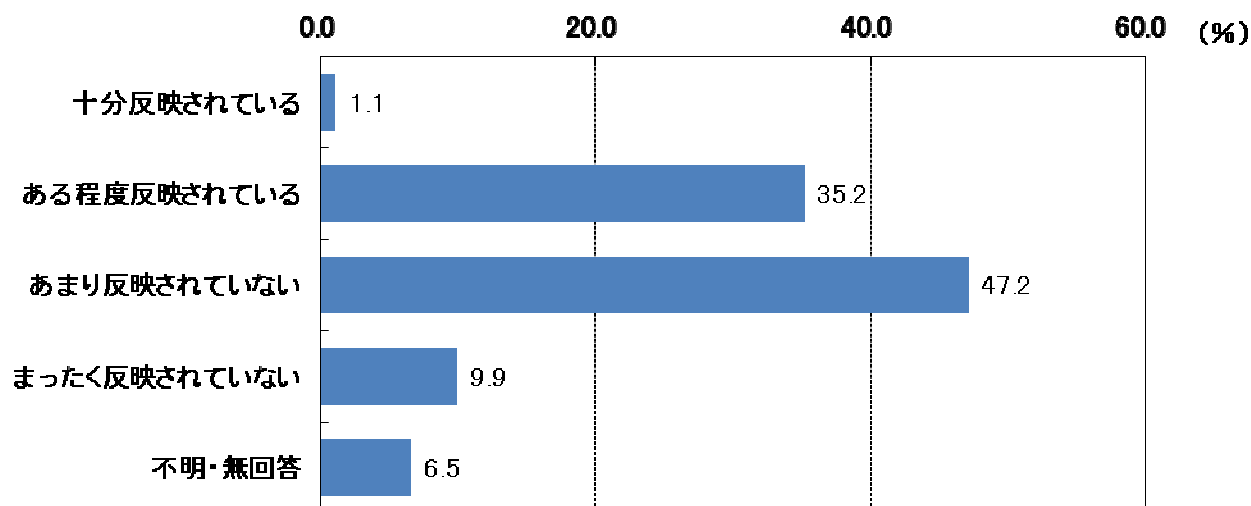
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【市民意見の反映】

問 25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

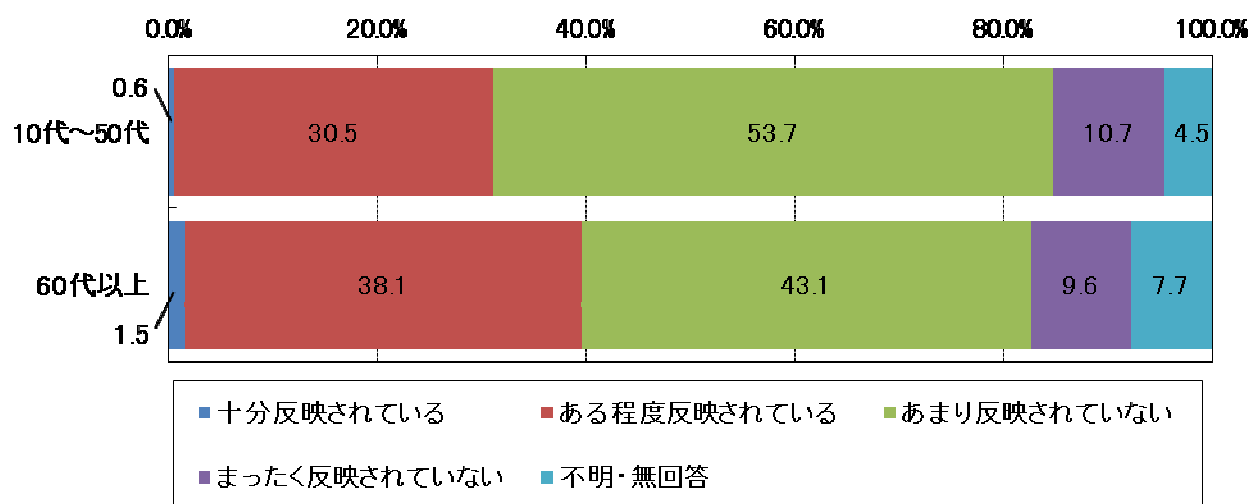
市政への市民意向の反映状況として、「あまり反映されていない」が47.2%、「まったく反映されていない」が9.9%と、合計で57.1%が「反映されていない」と回答しています。

N=443



問 25×年代

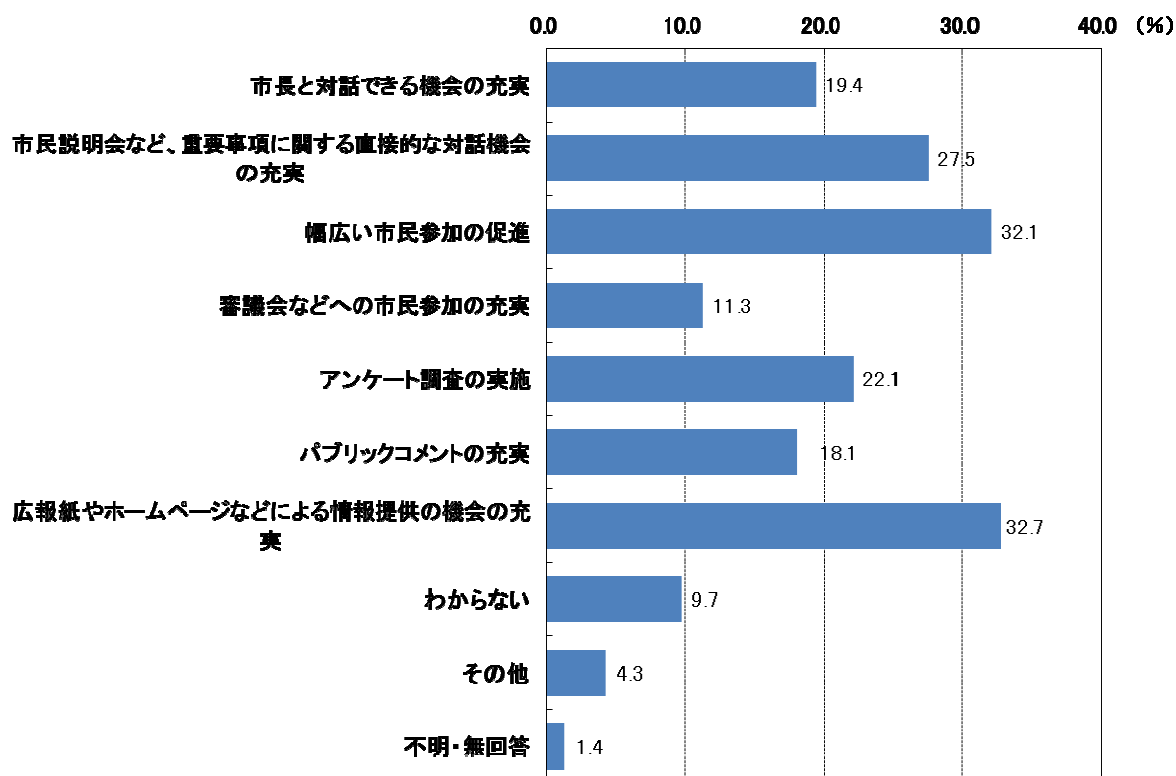
市政への市民意向の反映状況を年代別に見ると、「あまり反映されていない」「まったく反映されていない」の合計が、「20代～50代」では64.4%、「60代以上」では52.7%となっています。



問 26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

市民意向を市政に反映させる方策として、「広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実」が32.7%、「幅広い市民参加の促進」が32.1%、「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が27.5%となっています。

N=443

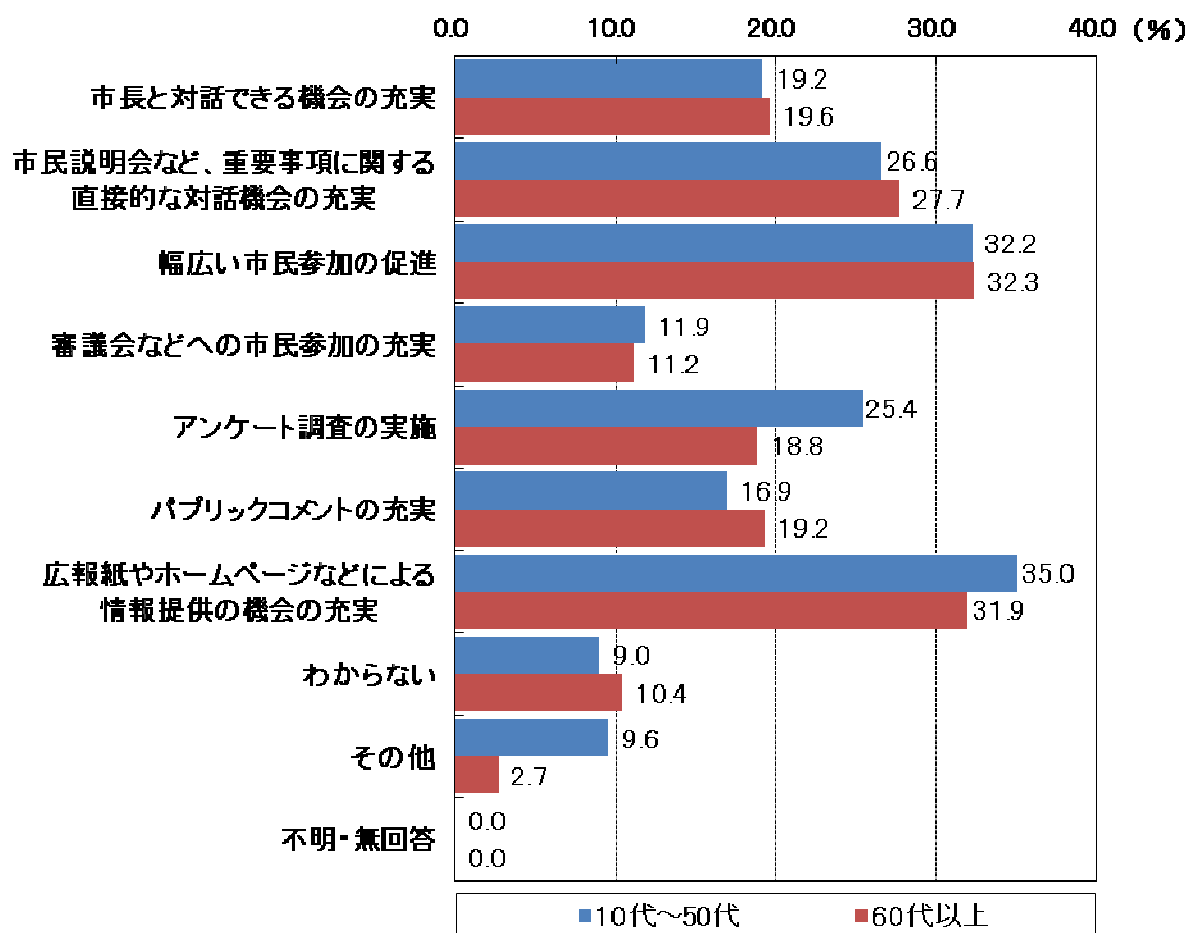


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他	
市議会の充実、定員減	目安箱の設置
子育て世代が参加しやすいインターネットでの意見募集	パソコンや携帯電話以外での情報の周知方法の工夫
三重県の県民参加型予算(みんつく予算)の尾鷲市版	市長への手紙の回数を増やす
裁判員制度のような参加型	オンラインでのライブ配信、市民が匿名で意見できる場
市職員全員への情報共有	地区懇談会への市職員の参加

問 26×年代

市民意向を市政に反映させる方策を年代別に見ると、「10代～50代」では「広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実」の割合が最も高く、次いで「幅広い市民参加の促進」の割合が高くなっており、「60代以上」では「幅広い市民参加の促進」の割合が最も高く、次いで「広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実」の割合が高くなっています。



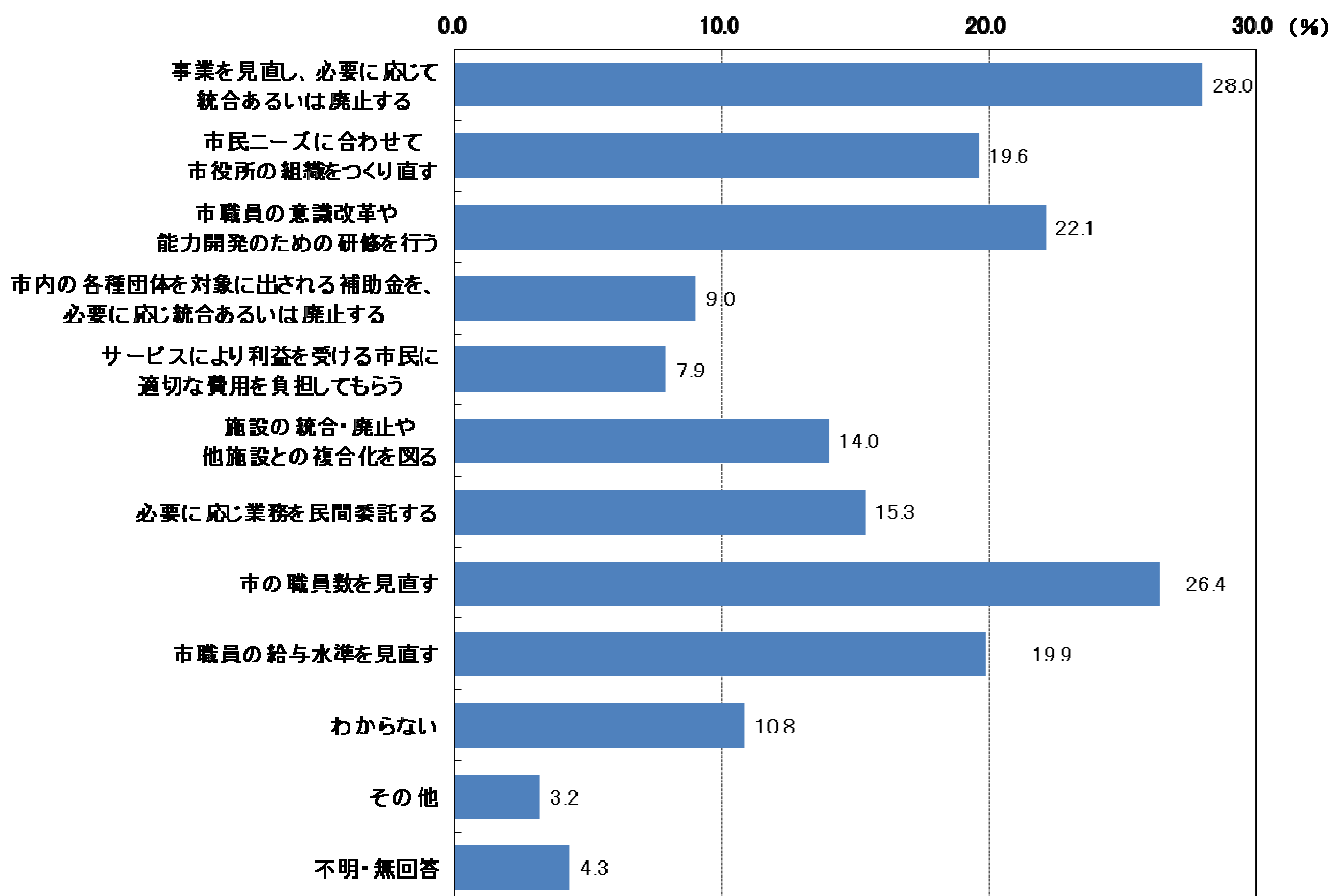
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【行政改革】

問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。(複数回答)

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策として、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」が28%、「市の職員数を見直す」が26.4%、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」が22.1%となっています。

N=443

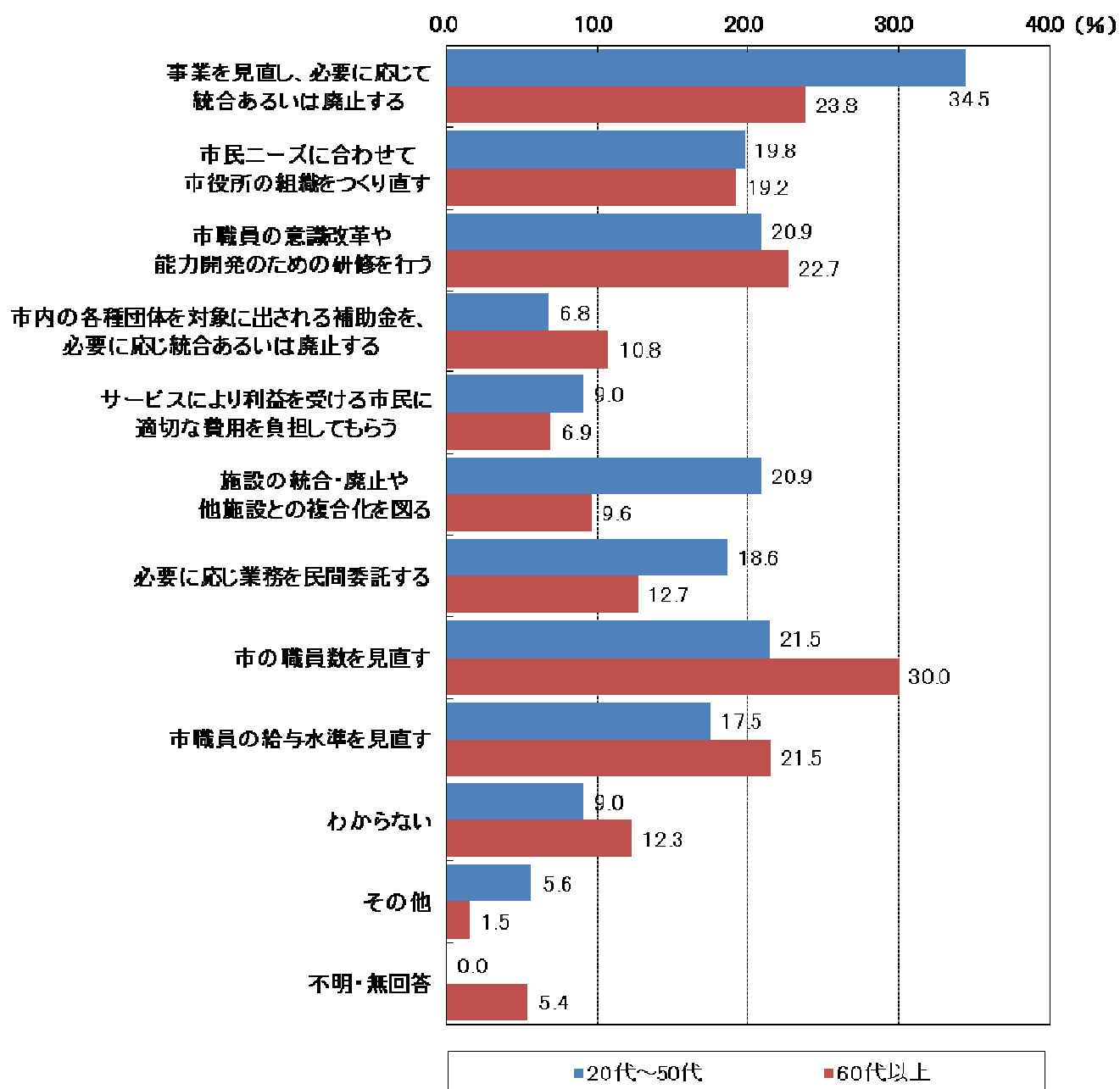


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
世界や国内の住みたいまち上位との比較、いい所取り
議員定数の見直し
市職員の残業を見直す
前例にこだわらない
住民と接して学ぶ職員研修

問27×年代

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策を年代別に見ると、「10代～50代」では「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」の割合が最も高く、次いで「市の職員数を見直す」の割合が高くなっており、「60代以上」では「市の職員数を見直す」の割合が最も高く、次いで「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」の割合が高くなっていきます。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

4. 暮らしの満足度と今後の重要度について

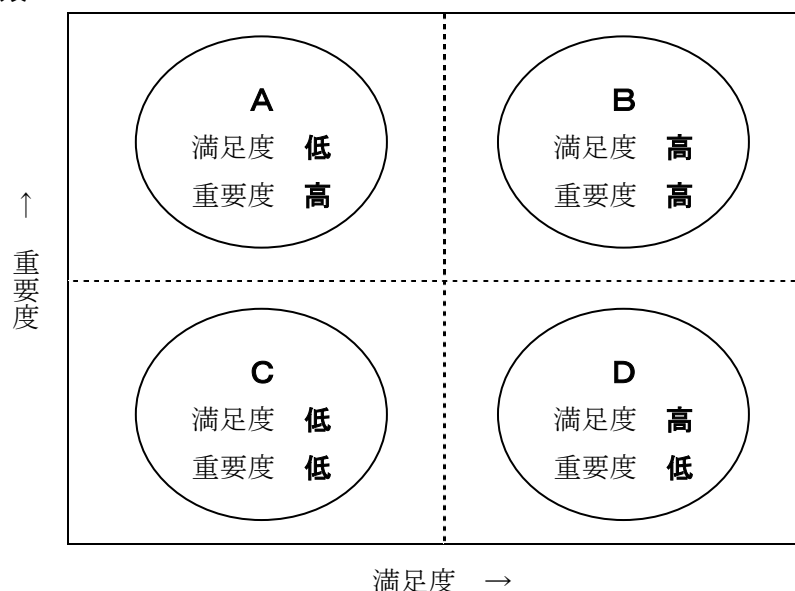
問28 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。

満足度の点数化については、「満足」＝5点、「どちらかといえば満足」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば不満」＝2点、「不満」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

重要度の点数化については、「重要」＝5点、「どちらかといえば重要」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

市の取り組みやサービスの分野 38 項目について、上記の基準で点数化し、散布図に落とし込みました。

■結果の分類



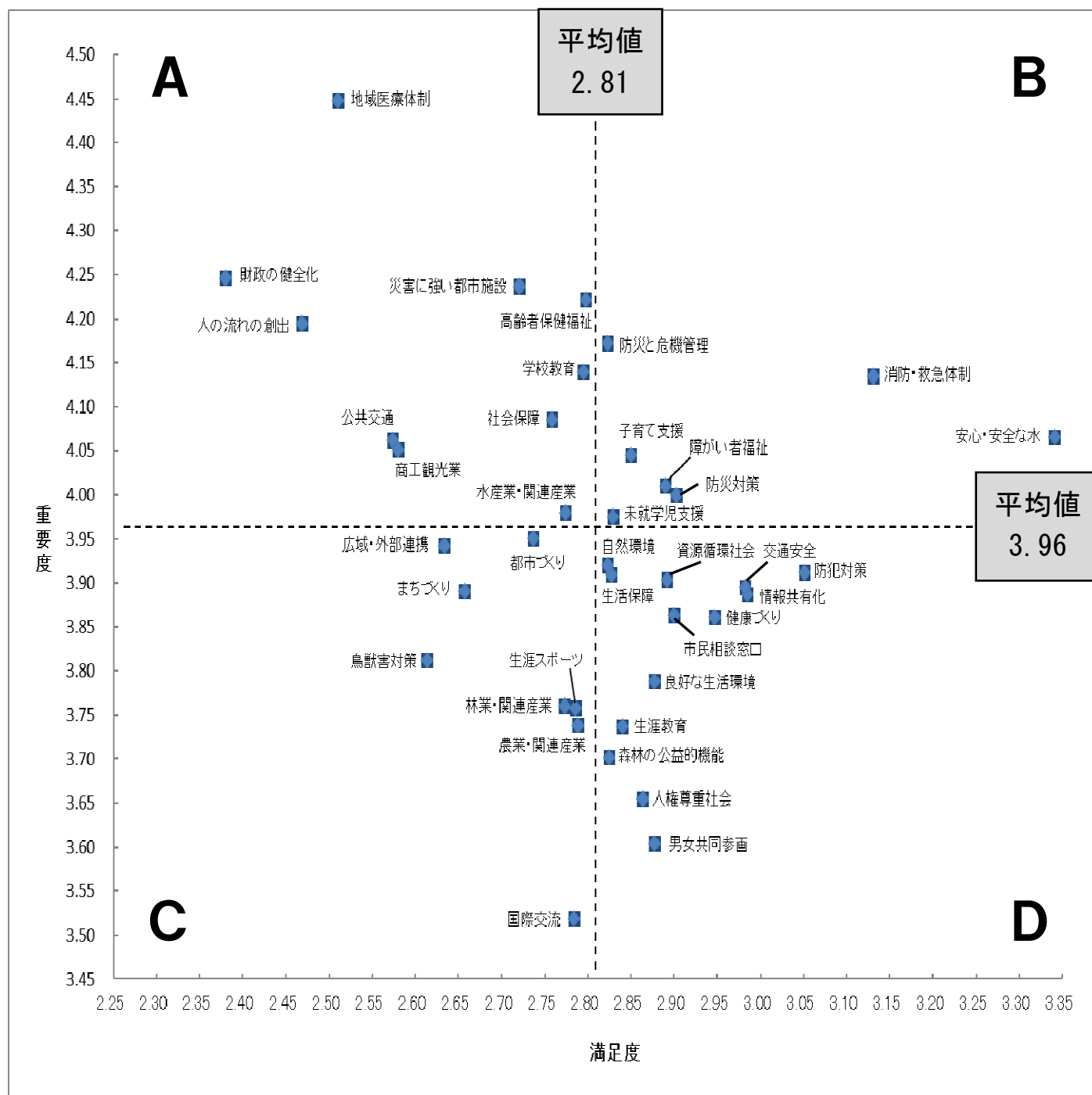
領 域	説 明
A	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度も重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで 38 項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。

■満足度・重要度の散布図

満足度と重要度の散布図について、「地域医療体制」「財政の健全化」「人の流れの創出」などがAの領域に分類され、今後優先して充実することが求められている項目となります。

一方で、「男女共同参画」「人権尊重社会」「森林の公益的機能」などがDの領域に分類されています。



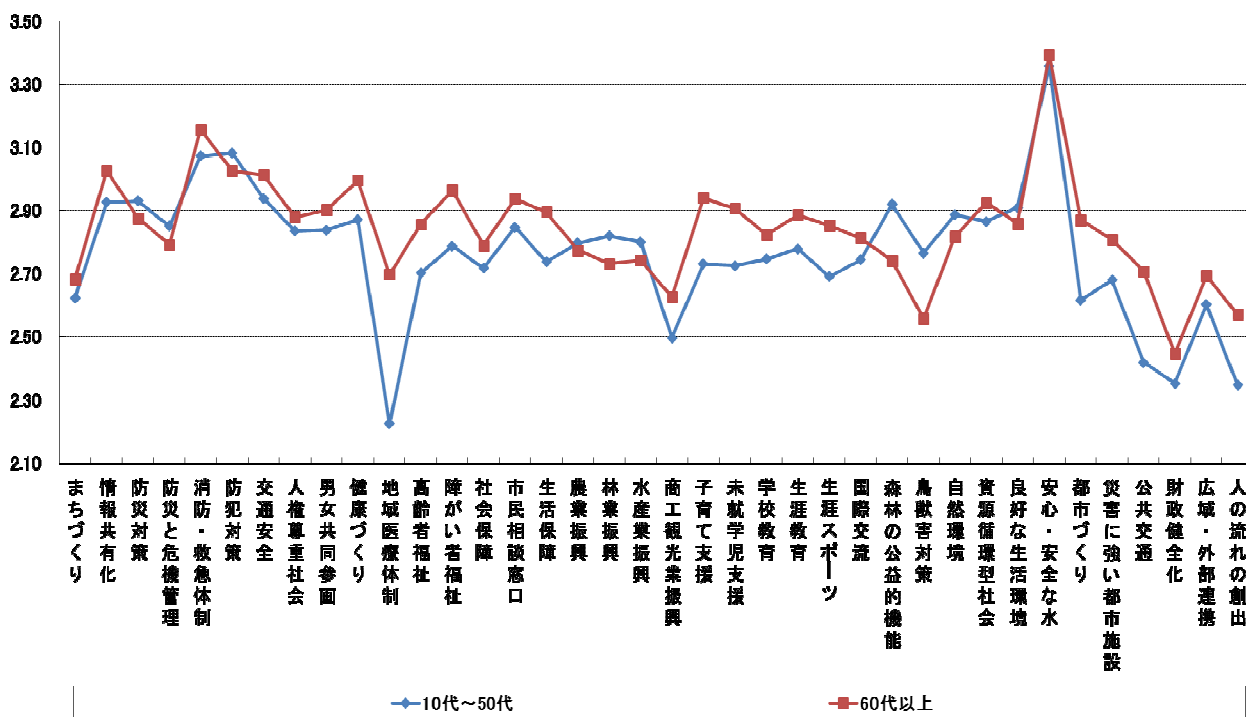
■満足度・重要度一覧

	満足度	重要度
(1) 市民参加によるまちづくり 地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど	2.66	3.89
(2) 情報共有化 広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など	2.98	3.89
(3) 市民参加による防災対策 防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど	2.90	4.00
(4) 防災と危機管理 土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、避難場所、防災情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など	2.82	4.17
(5) 消防・救急体制 火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など	3.13	4.13
(6) 防犯対策 犯罪の不安を感じることはない安全で安心な取り組みなど	3.05	3.91
(7) 交通安全 交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど	2.98	3.90
(8) 人権尊重社会 人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う取り組みなど	2.86	3.65
(9) 男女共同参画の推進 性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど	2.88	3.60
(10) 健康づくり ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など	2.95	3.86
(11) 地域医療体制 尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など	2.51	4.45
(12) 高齢者保健福祉 いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど	2.80	4.22
(13) 障がい者福祉 自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど	2.89	4.01
(14) 社会保障の確保 安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど	2.76	4.09
(15) 市民相談窓口の確保 必要ときに適切な相談を受けることができる取り組みなど	2.90	3.86
(16) 生活保障の確保 必要ときに適切な支援を受けることができる取り組みなど	2.83	3.91
(17) 農業振興 さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保全・管理、活用がされる取り組みなど	2.79	3.74
(18) 林業振興 経営基盤が強化され、施業を継続的に実施できる取り組みなど	2.77	3.76
(19) 水産業振興 水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及び付加価値の向上により、水産業が持続できる取り組みなど	2.77	3.98
(20) 商工観光業振興 活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創出される取り組みなど	2.58	4.05
(21) 子育て支援 保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくりなど	2.85	4.05
(22) 未就学児支援 未就学児が健やかに成長できる取り組みなど	2.83	3.97
(23) 学校教育 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど	2.80	4.14
(24) 生涯教育の推進 文化・生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など	2.84	3.74
(25) 生涯スポーツの推進 年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど	2.79	3.76
(26) 国際交流の推進 多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど	2.78	3.52
(27) 森林の公益的機能 適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど	2.82	3.70

(28)鳥獣害対策の推進 野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど	2.61	3.81
(29)自然環境 自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど	2.82	3.92
(30)資源循環型社会の推進 ごみの発生抑制・再使用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど	2.89	3.90
(31)良好な生活環境の保全 環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど	2.88	3.79
(32)安全・安心な水の確保 安全で安心な水が安定供給される取り組みなど	3.34	4.07
(33)都市づくり 安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど	2.74	3.95
(34)災害に強い都市施設 災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど	2.72	4.24
(35)公共交通 安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど	2.57	4.06
(36)財政の健全化 行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど	2.38	4.25
(37)広域・外部連携の推進 近隣市町や産学官の連携、共創による新たなまちづくりがされる取り組みなど	2.63	3.94
(38)人の流れの創出 多くの市民が住み続けたいと思い、市外の人も住み続けたいと思えるまちとなるような定住移住に対する取り組みなど	2.47	4.20
平 均	2.81	3.96

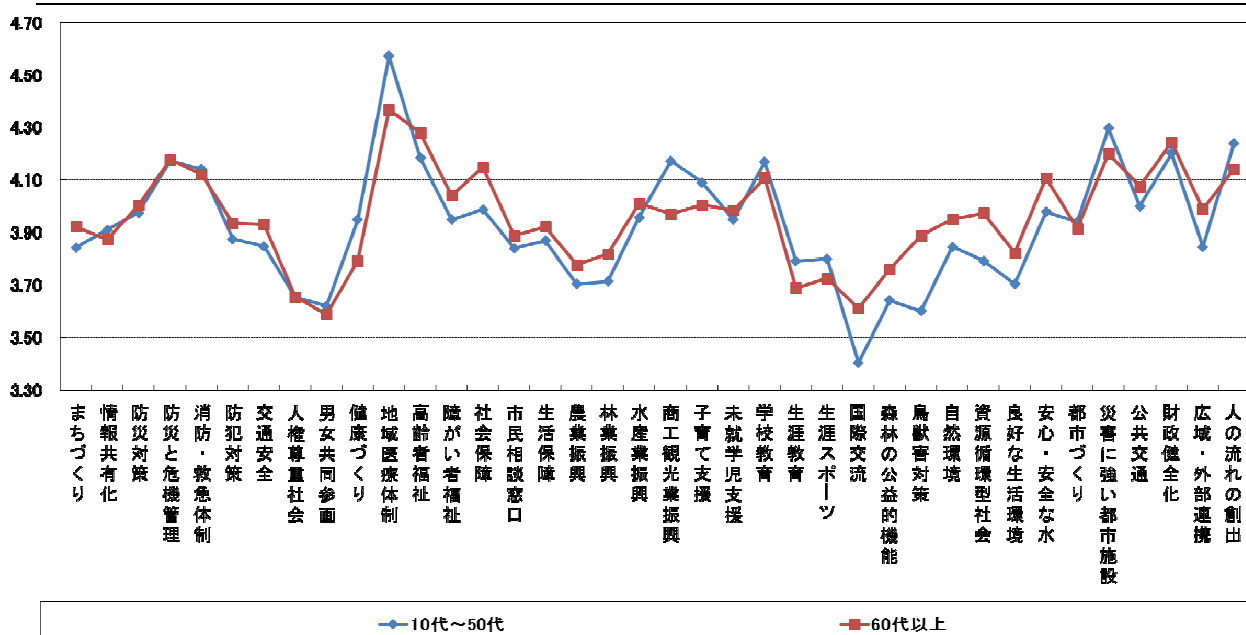
■満足度×年代

満足度について年代別に見ると、全年代で「安心・安全な水」の数値が高くなっており、次いで「10代～50代」では「防犯対策」「消防・救急体制」が、「60代以上」では「消防・救急体制」「情報共有化」「防犯対策」の数値が高くなっています。



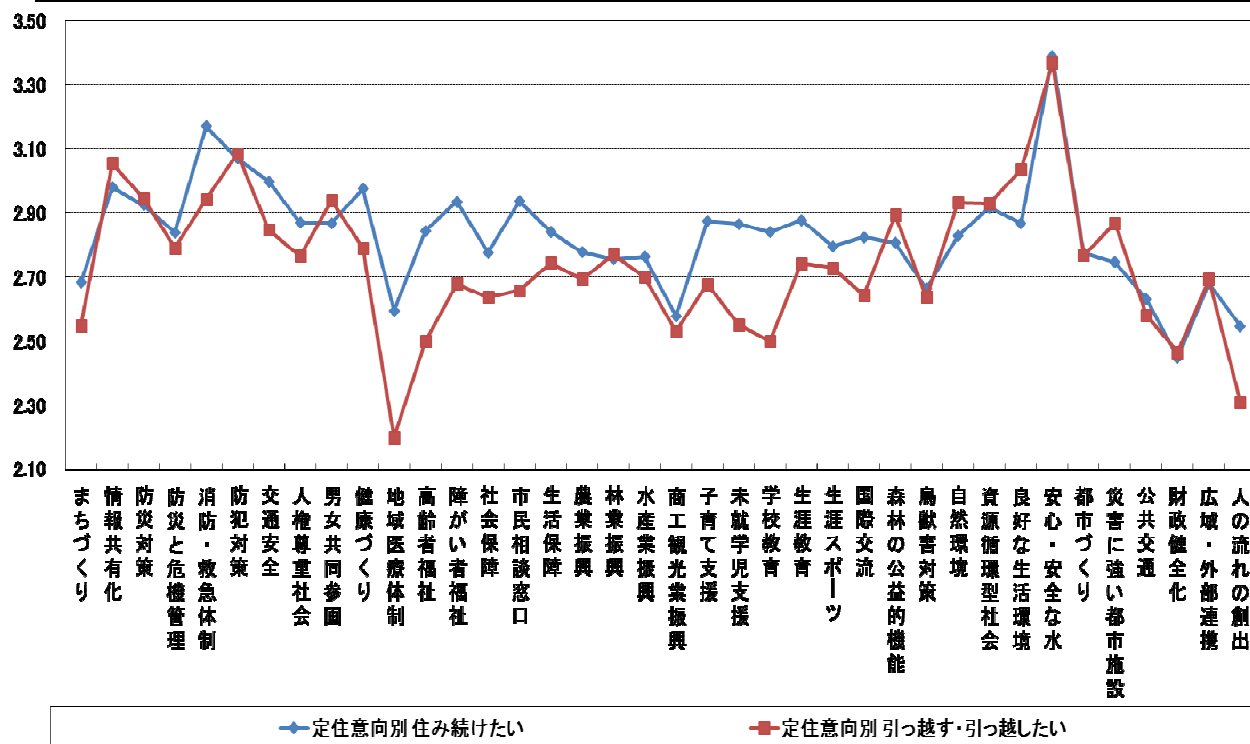
■重要度×年代

重要度について年代別に見ると、全年代で「地域医療体制」の数値が高くなっており、次いで「10代～50代」では「災害に強い都市施設」「人の流れの創出」が、「60代以上」では、「高齢者福祉」「財政健全化」の数値が高くなっています。



■満足度×定住意向

満足度について定住意向別に見ると、ほとんどの項目で「住み続けたい」の方が高い数値となっています。一方で、「自然環境」「良好な生活環境」「災害に強い都市施設」などでは、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方の数値が高くなっています。



■重要度×定住意向

重要度について定住意向別に見ると、定住意向に関係なく「地域医療体制」の数値が最も高く、次いで「災害に強い都市施設」の数値が高くなっています。

